

第2期計画		第3期計画(素案)			
4 地域課題と取組 (1)鶴岡地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (1)鶴岡地域		
キャッチ フレーズ	～互いに支え合い、安心して暮らせる地域コミュニティの推進～	P38	キャッチ フレーズ	～互いに 支え合い、 <u>誰もが</u> 安心して暮らせる地域コミュニティの <u>実現</u> ～	
リード文	鶴岡地域では、歴史的経過や地理的要因により、市街地と郊外地における単位自治組織の人口規模や成り立ち等はそれぞれ異なっていますが、これまで30年余にわたり単位自治組織と広域コミュニティ組織が共存し、活発な地域コミュニティ活動が展開されてきました。 しかし、人口減少・高齢化の進行により地域活動の担い手が不足し、共助の機能を維持することが難しい単位自治組織も見受けられます。一方、高齢者の割合が低い地域でも、個々の帰属意識が低いことなどにより担い手が不足しているなど、地域コミュニティをめぐる様々な問題が浮き彫りになっています。 また、令和2年は、新型コロナウイルス感染拡大により、地域の人が集うお祭りや行事などの開催を見合わせることで、これまで進めてきた地域コミュニティ活動は制限され、力を発揮できない状況にありました。 しかしながら、こうした状況は、人と人のつながりの大切さを再認識する機会となったことから、住民が主体となって隣近所の困りごとや地域の課題解決の実効性を高める取組を進めます。 さらに、広域コミュニティ組織による単位自治組織への機能補完や事業支援を進めるなど、コミュニティ活動の基盤強化に取り組めます。 加えて、近年の情報化の進展に伴い、人々の価値観や生活様式は多様化しており、ホームページやソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)を用いて活動内容などを積極的に発信したり、回覧板や役員会議、お茶のみサロンなど日常の活動にも情報機器を活用したりするなど、つながり方の幅が広がるような取組を展開します。 このほか、子どもの成長を軸として、郷土愛を育む地域づくりに取り組むなど、互いに支え合い、安心して暮らせる地域コミュニティを推進します。	P38	リード文	鶴岡地域では、歴史的経過や地理的要因により、市街地と郊外地における単位自治組織の人口規模や成り立ち等はそれぞれ異なっていますが、これまで30年余にわたり単位自治組織と広域コミュニティ組織が共存し、活発な地域コミュニティ活動が展開されてきました。 しかし、人口減少・高齢化の進行により地域活動の担い手が不足し、共助の機能を維持することが難しい単位自治組織も見受けられます。また、新興住宅地でも、個々の帰属意識が低いことなどにより担い手が育ちにくく、地域コミュニティをめぐる様々な問題が浮き彫りになっています。 あわせて、町内会・自治会の加入率は低下しつづけており、地域の連帯感の希薄化、災害時の備えとして重要な共助体制の弱体化も懸念されています。 こうした課題に対応し、安心・安全な暮らしを支える地域づくりをすすめるために、それぞれの地区・学区の実態を十分に踏まえながら持続可能な組織運営となるよう実効性のある取組を進めます。 さらに、広域コミュニティ組織による単位自治組織への機能補完や事業支援を進めるなど、コミュニティ活動の基盤強化に取り組めます。 加えて、近年の情報化の進展に伴い、人々の価値観や生活様式は多様化しており、ホームページやSNSを用いて活動内容などを積極的に発信したり、回覧板、役員会議、日常の活動、防災訓練等にもデジタルツールを活用したりするなど、つながり方の幅が広がるような取組を展開します。 このほか、子どもが多世代と関わる機会を通じて郷土愛を育むことができる環境づくりをすすめるなど、互いに支え合い、安心して暮らせる地域コミュニティを推進します。	

4 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域	
単位自治組織に係る課題と取組			単位自治組織に係る課題と取組	
① 将来を見据えた持続可能な組織づくり			① 将来を見据えた持続可能な組織づくり	
リード 文	鶴岡地域では、人口減少や高齢化のほか、 <u>生活様式の多様化や帰属意識が低いことなどが起因して、地域活動の担い手が不足しています。特に高齢化が進んだ地域では、役員交代が容易でなくなるなど単位自治組織の機能を維持することが困難になりつつあります。</u> また、郊外地は、単位自治組織の長が輪番制であることが多く、仕事を覚えるのが精一杯で、 <u>新たな活動に取り組む余裕が無いなどの問題もあります。</u> 単位自治組織は、 <u>地域活動の内容の見直しを行ったり、役員参加が図られるように環境づくりやマニュアル作成を進めたりするほか、新しい生活様式を取り入れるなど</u> 将来を見据えた持続可能な組織づくりが必要です。	P39	リード 文	鶴岡地域では、人口減少や高齢化のほか、 <u>ライフスタイルや価値観の多様化、若い世代の帰属意識が希薄になったこともあり、地域活動を支える担い手が不足しています。次の世代の担い手を掘り起こす有効な手だてが見つからず苦慮しているなど単位自治組織の機能維持が難しくなっています。</u> また、郊外地では輪番制でも高齢者世帯、 <u>単身世帯の増加により役員を引き受けられない状況が見受けられ、地域活動の継続性や機能低下が懸念されています。</u> そのため、単位自治組織は、 <u>地域活動の見直しを行い、年齢や性別に関わらず多くの方が活躍でき、協力しやすい環境づくりをすすめるとともに、SNSやホームページ等のデジタルツールを活用し、地域活動の運営をより効率的にすすめる持続可能な組織づくりが必要です。</u>
具体的 取組の例 1つめ	○事業(地域活動)の棚卸し、事業内容の見直し	P39	具体的 取組の例 1つめ	○事業の棚卸しを行い、住民参加や生活課題解決につながる優先事業の明確化
具体的 取組の例 2つめ	○ <u>役員の負担軽減に向けた組織体制・役員構成の見直しや運営マニュアルの作成</u>	P39	具体的 取組の例 2つめ	○組織や役割を見直し、無理のない組織運営と運営マニュアルの作成
具体的 取組の例 3つめ	○ <u>後継者や次代のリーダーの育成を意識した組織運営</u>	P40	具体的 取組の例 3つめ	○ <u>次代の担い手の育成を意識した組織運営</u>
具体的 取組の例 4つめ	○ <u>女性の力やこれまでの経験を活かし、活躍の場を拡大</u>	P40	具体的 取組の例 4つめ	○ <u>年齢や性別にとらわれず、これまでの経験を活かし、活躍の場を拡大</u>
具体的 取組の例 6つめ	○ <u>(役員を輪番制としている場合)新しい課題や事業にも対応できる組織内の連携</u>	P40	具体的 取組の例 6つめ	○ <u>誰が担い手になっても新しい課題や事業に対応できる組織内の連携・サポート体制の構築</u>
具体的 取組の例 8つめ	○SNSの活用など新しい <u>生活様式の導入</u>	P40	具体的 取組の例 8つめ	○ <u>地域活動の運営をより効率的に進めるとともに、若い世代の参画を促す手段として SNS の活用 等 デジタル化 の 推進</u>

4 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域	
②活動の担い手となる人材の確保と育成			②活動の担い手となる人材の確保と育成	
リード 文	人口減少と高齢化、帰属意識の希薄さ等が起因して、地域活動の担い手の確保が難しくなり、役員の固定化が進んでいます。 担い手不足を解消するため、若者から得意分野や企画運営で役割を担ってもらい、育成へつなげる仕掛けづくりが必要です。 また、若者が参加しやすい会議運営や、若者の意見を尊重するなどの環境づくりも必要です。	P40	リード 文	少子高齢化の進展や若い世代の帰属意識の希薄さもあり、地域活動に関わる人が少なくなっています。その結果、地域活動の担い手が限られ、特定の人に負担が集中するなど役員の固定化が進んでいます。 担い手不足を解消するため、若い世代が活動の企画運営に関われる仕掛けや子どもから高齢者まで様々な住民が気軽に楽しく、意欲を持って地域活動に参加し、自分の得意なことや興味のあることを活かせる環境づくりが必要です。
具体的 取組の例 1つめ	○若者が参加しやすい環境づくり	P40	具体的 取組の例 1つめ	○若い世代 が参加しやすい環境づくり
③情報発信と会員確保			③情報発信と会員確保	
リード 文	鶴岡地域の住民自治組織加入率は、市域では一番低く、わずかですが低下傾向にあります。 住民自治組織への加入を促すため、住民自治組織は会報やチラシを工夫して地域活動をアピールするほか、インターネットやスマートフォンで情報収集する人が増えている状況を踏まえ、発信方法の工夫なども必要です。	P40	リード 文	鶴岡地域の住民自治組織加入率は、市内で最も低い水準にとどまっており、減少傾向にあります。その原因の1つとして、住民自治組織の役割や活動内容がわかりづらいということが挙げられます。 そのため、従来の広報紙のほか、近年増えているインターネットやスマートフォンで情報を得る方々に対して、ホームページやSNSを併用した情報発信を行い、活動内容をわかりやすく伝えるなど住民の参加意欲を高めていくことが必要です。
具体的 取組の例 1つめ	○住民自治組織の存在意義や役割、活動等を広報紙のほか、ホームページやSNSを併用して発信	P41	具体的 取組の例 1つめ	○住民自治組織の存在意義や役割の周知と住民の参加意欲を高めるため、広報紙のほか、ホームページやSNSを併用してわかりやすく発信
具体的 取組の例 2つめ	○転居者や未加入者、アパート家主などへの加入勧誘	P41	具体的 取組の例 2つめ	○転居者や未加入者、アパート家主等への加入勧誘

4 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域	
④地域課題の解決に向けた取組の実施			④地域課題の解決に向けた取組の実施	
リード 文	隣近所の支え合い意識が低下する中で、困っている人や悩んでいる人たちの声を発掘・収集するためには、気軽に話し合える雰囲気や場づくりが欠かせません。 市が令和2年度に実施したアンケート調査(以下「アンケート調査」という)によれば、地域課題の把握と共有のために、「隣組を再編し、機能強化を図った」「町内の防災訓練等の際にグループワークを取り入れ、現状や課題を共有することができた」「隣組内のちょっとした困りごとを有償ボランティアの取組でご近所で助け合っている。有償なので、『手伝って』と言いやすく、互いの顔が見えて、構えなくてよい関係になってきている」などの回答があった一方で、「課題は把握できても、組織体制が弱いため、改善に向けた実効的な取組がなかなかできない」という回答もありました。単位自治組織単独で取り組むのではなく、他の町内会や広域コミュニティ組織、その他関係団体と連携するなどして課題解決の取組を検討することも必要です。	P41	リード 文	隣近所のつながりや支え合い意識が低下する中で、困っている人や悩んでいる人たちの声を拾いあげていくためには、誰もが年齢や性別にとらわれず、お互いを尊重し自由に話しあえる関係性を築いていくことが大切です。 また、地域課題を把握し、解決に向けて取り組むには、単位自治組織だけで取り組むのではなく、他の町内会との連携や広域コミュニティ組織との役割分担など課題解決に取り組むための仕組みづくりが必要です。
具体的 取組の例 1つめ	○課題の把握と共有のための、気軽に話し合える雰囲気や場づくり	P41	具体的 取組の例 1つめ	○課題の把握と共有のために、年齢、性別にとらわれず、お互いを尊重し、自由に話し合える場づくり
具体的 取組の例 2つめ	○有償ボランティアの検討など、課題解決に取り組むための新しい事業等の検討	P41	具体的 取組の例 2つめ	○有償ボランティアの検討など課題解決に取り組むための新しい事業等の検討
⑤災害に備えたコミュニティづくり			⑤災害に備えたコミュニティづくり	
リード 文	震度6弱を観測した山形県沖地震(令和元年6月18日)後に実施した「アンケート調査」では、鶴岡地域の6割の単位自治組織で世帯カードの更新や防災マップの作成に取り組んだと回答しました。 災害に強いコミュニティをつくるには、日頃からの、地域における顔のわかる関係や絆づくりが必要です。日中の災害発生では、消防団をはじめとする青・壮年層は不在の場合が多いため、単位自治組織や自主防災組織、全ての地域住民の協力体制のもと地域全体で防災に取り組み、避難誘導の声掛けや安否確認を行うことができる体制を整え、地域防災力の向上が必要です。	P41	リード 文	令和6年1月の能登沖地震や令和6年7月の豪雨災害を受けて、多くの単位自治組織が防災活動に力を入れています。ふり返しシートによる調査結果からも、防災に関する取組みの割合が他の地域課題より高く、防災について関心が高いことがうかがえました。 災害時に声掛けや安否確認、避難誘導を行うことができる体制づくりには、普段からの近所付き合いや隣組の関係性の構築が必要です。特に日中に災害が発生した場合には、消防団をはじめとする現役世代が不在であることが多く、全ての地域住民が防災に対しての理解を深め、地域全体で災害に備えたコミュニティづくりに取り組む必要があります。
具体的 取組の例 1つめ	○会員情報の把握と顔の見える隣組の関係性の構築	P41	具体的 取組の例 1つめ	○会員情報の把握と、いざという時に備えた普段からの近所付き合いや隣組の関係性の構築

4 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域	
		P41	具体的 取組の例 3つめ	○高齢者の避難誘導を意識した防災マップづくり ※新規
具体的 取組の例 3つめ	○市の災害時避難行動要支援者支援制度に基づき、名簿提供に同意した要支援者の個別避難計画を作成	P41	具体的 取組の例 4つめ	○市の災害時避難行動要支援者支援制度に基づき、名簿提供に同意した要支援者の状況の把握に基づいた個別避難計画を作成
		P42	具体的 取組の例 5つめ	○防災訓練や勉強会を開催し、住民が防災スキルを身につけられる仕組みづくり ※新規
		P42	具体的 取組の例 6つめ	○デジタルツールを活用した災害情報の共有と安否確認 ※新規
⑥「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり		⑥「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛の醸成と次世代へつなぐ環境づくり		
リード 文	担い手が不足し、伝統行事・芸能の継承に不安を抱えながらも、運営形態等の見直しを図りながら継承している地域が多く、子どもから高齢者まで世代を超えたつながりの創出の機会となっています。 地域の自然や歴史、文化、伝統、産業等を大切に維持・発展させ、誇りを持って住み続けることができるように、子どもの頃から理解を深めていくことが必要です。	P42	リード 文	伝統行事などの地域活動において担い手不足が深刻化しています。こうした状況の中でも、地域事業の維持を目指し、運営の見直しや工夫を重ねている姿もみられます。今後は、限られた人手の中でも多世代がつながり、交流できる機会を創出することが必要です。 地域の自然や歴史、文化、伝統等に触れることで、誇りと愛着を持って住み続けることができるように、子どもの頃から理解を深めていくことが必要です。
具体的 取組の例 1つめ	○子どもの頃から地域の自然や歴史、文化、伝統、産業等への理解を促すような機会づくり	P42	具体的 取組の例 1つめ	○子どもの頃から地域の自然や歴史、文化、伝統への誇りと愛着が持てる環境づくり
具体的 取組の例 2つめ	○開催日や運営形態等を工夫し、若い人材の確保や大勢が参加しやすい仕掛けづくり	P42	具体的 取組の例 2つめ	○郷土愛を育む各種事業について開催日や運営形態を工夫し、多くの世代が参加しやすい仕掛けづくり
具体的 取組の例 3つめ	○子どもから高齢者まで世代を超えたつながりの創出	P42	具体的 取組の例 3つめ	○多世代がつながり、交流できる機会の創出

4 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域	
広域コミュニティ組織に係る課題と取組			広域コミュニティ組織に係る課題と取組	
①時代の変化に適応する運営や事業展開と持続可能な組織づくり			①時代の変化に適応する運営や事業展開と持続可能な組織づくり	
①リード 文	広域コミュニティ組織は、生涯学習や福祉、防災、生活環境整備等の総合的な地域活動のほか、地域づくりや課題解決に向けた取組など活動内容が多分野にわたるため、事務局の負担は増加の傾向にあります。 一方、学区・地区内の組織再編を行い、事業のスピード化や会議の削減を図った事例もあることから、事業内容や組織体制が現状にあっていくか確認する必要があります。 このほか、企画運営や得意分野で役割を担える人材を発掘・育成することや、SNSの活用など地域住民を惹きつける情報発信や事業企画・運営などを行い、時代の変化や多様化するニーズに適応していくことも必要です。	P42	リード 文	広域コミュニティ組織は、生涯学習や福祉、防災、生活環境整備等の総合的な地域活動のほか、地域づくりや課題解決に向けた取組も進めています。しかし、高齢化が進行する中で、地域活動を支える担い手の数は減少しており、地域全体の活動を維持・発展させるための負担が、事務局に集中しやすい状況となっています。そのため、事業内容や組織体制の見直し、会議の回数を減らすといった工夫が必要です。 また、地域づくりに関心のある住民を見つけて企画運営や得意分野で役割を担えるメンバーとして育てていくことも必要です。あわせて参加意欲を高めるため広報紙のほかホームページやSNSを通じてわかりやすい情報発信・情報収集の強化を行うなど若い世代の参画を促す取組みを工夫していくことが必要です。
具体的 取組の例 4つめ	○地域を引っ張るリーダーや中核的グループなど多様な人材の発掘、集結及び育成	P43	具体的 取組の例 4つめ	○地域づくりに関心のある住民、中核的グループなど多様なメンバーの発掘、集結及び育成
具体的 取組の例 5つめ	○広報紙のほか、ホームページやSNSを併用した情報発信・情報収集の強化	P43	具体的 取組の例 5つめ	○住民の参加意欲を高めるため、広報紙のほか、ホームページやSNSを併用したわかりやすい情報発信・情報収集の強化
具体的 取組の例 6つめ	○SNSの活用など新しい生活様式の導入	P43	具体的 取組の例 6つめ	○地域活動の運営をより効率的に進めるとともに、若い世代の参画を促す手段としてSNSの活用等デジタル化の推進
②「地域ビジョン」策定など地域課題解決に向けた取組の強化			②「地域ビジョン」策定など地域課題解決に向けた取組の強化	
リード 文	鶴岡地域では、2つの地区で地域ビジョンが策定されています(令和2年12月現在)。策定にあたっては、住民参加のワークショップを何度も行い、地域の課題を認識・共有していくプロセスを経ることで、我が事としての地域づくりが進められ、主体的に課題を解決する力の向上とリーダーや中核的グループの育成が図られつつあります。 常日頃、地域コミュニティ活動に参加している住民自治組織や各種団体、サークルの関係者だけでなく、小中高生や大学生、若い世代など、多くの地域住民が参加して、地域の課題や魅力、価値を把握し、目指すべき姿や方向性を共有していくことが必要です。 このほか、課題解決の実効性を高めるため、地域内の単位自治組織や他の広域コミュニティ組織、関係団体、企業、NPO、大学、専門家などと連携して取り組んでいく工夫なども必要です。	P43	リード 文	鶴岡地域では5地区で地域ビジョンが策定されています。策定にあたっては、住民参加のワークショップを何度も行い、地域の課題を認識・共有していくプロセスを経ることで、我が事としての地域づくりが進められ、主体的に課題を解決する力の向上と中核的グループの育成が図られました。 且頃から、地域コミュニティ活動に参加している住民自治組織や各種団体、サークルの関係者だけでなく、小中高生や大学生、若い世代など、多くの地域住民が参加して、地域の課題や魅力、価値を把握し、目指すべき姿や方向性を共有していくことが必要です。 加えて、課題解決の実効性を高めるため、地域内の単位自治組織だけでなく他の広域コミュニティ組織、関係団体、企業、NPO、大学、専門家等と連携して取り組んでいく工夫なども必要です。

4 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域	
具体的 取組の例 1つめ	○地域の現状と課題や魅力、価値を共有するワークショップの実施	P43	具体的 取組の例 1つめ	○地域内の様々な関係団体と協力し、地域住民が参加できるワークショップを開催することで、課題や魅力・価値を共有できる体制づくり
具体的 取組の例 3つめ	○課題解決に取組むための仕組みづくり(関係組織・団体との連携や組織体制の見直しなど)	P43	具体的 取組の例 3つめ	○関係組織・団体との連携や組織体制の見直しなど課題解決に取り組むための仕組みづくり
③コミュニティ防災のまちづくり			③コミュニティ防災のまちづくり	
リード 文	災害発生直後、交通網の寸断や火災の同時多発などにより行政の対応「公助」だけでは限界があることから、自分の身は自分で守る「自助」とともに、地域ぐるみの協力体制「共助」の取組が必要です。 平常時には、地域に住む一人ひとりの防災意識を高め、防災訓練や地域の安全点検を行うなど地域防災力の向上を図るとともに、災害時に、人命を守り、被害の拡大を防ぐための活動として、被害情報の収集や伝達、避難所運営などを行うことができるよう体制を整える必要があります。	P43	リード 文	災害が発生した直後は、道路の寸断や火災の同時多発等により行政による支援「公助」だけでは限界があることから、自分の身は自分で守る「自助」とともに、地域ぐるみの「共助」の取組が必要です。特に災害発生時、高齢者世帯、単身世帯においては、避難を支援する人がいないケースも多く、避難の遅れや取り残されるリスクが懸念されます。こうした世帯への支援体制の整備は、地域の防災力を高めるために必要です。 且頃から一人ひとりが防災への意識を高め、定期的に防災訓練や研修の機会を設定するなど仕組みづくりを行うことが災害に強いまちづくりにつながります。
具体的 取組の例 2つめ	○安全・安心、防災等共通課題をきっかけとした広域コミュニティ組織の連携	P44	具体的 取組の例 2つめ	○安全・安心、防災等共通課題をきっかけとした広域コミュニティ組織、単位自治組織との連携
		P44	具体的 取組の例 3つめ	○高齢者が避難する際のサポート体制の構築 ※新規
		P44	具体的 取組の例 4つめ	○地域での防災意識を向上させるため、定期的に訓練や研修を行う仕組みづくり ※新規
		P44	具体的 取組の例 5つめ	○デジタルツールを活用した災害情報の共有 ※新規

4 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域	
④単位自治組織の機能補完			④単位自治組織の機能補完	
リード 文	鶴岡地域では、これまで30 年余にわたり単位自治組織と広域コミュニティ組織が共存し、活発な地域コミュニティ活動が展開されてきました。しかし、昨今の社会情勢の変化により、単位自治組織が抱える地域課題は多様化し、機能維持が難しくなっています。 今後は、安全・安心の確保をはじめとした課題解決のために、単位自治組織と広域コミュニティ組織が一層の連携・協力のもと、機能や役割を分担しながら取り組むことが必要です。	P44	リード 文	昨今の社会情勢の変化により、単位自治組織が抱える地域課題は福祉、防災等多様化し、また担い手の減少により機能維持は難しくなっています。 今後、特に必要性が高まる地域の安全・安心の確保をはじめとした地域課題の解決を図るため、単位自治組織と広域コミュニティ組織が一層の連携・協力のもと、機能や役割を分担しながら取り組むことが必要です。
具体的 取組の例 1つめ	○単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能補完・役割分担等の検討	P44	具体的 取組の例 1つめ	○単位自治組織と広域コミュニティ組織の機能補完・役割分担等の検討 ※第2期具体的取組の例1つめ、2つめの統合
具体的 取組の例 2つめ	○単位自治組織が行う諸事業へのサポート			
⑤地域資源を活かしたコミュニティビジネスの検討			⑤地域資源を活かしたコミュニティビジネスの検討	
リード 文	コミュニティビジネスは、ビジネスの手法を活用しつつ、地域住民が主体となって地域の抱える課題解決に取り組む、地域を活性化させる事業活動の一つです。住民ニーズはあるものの、これまで行政や企業では対応が困難であった福祉事業や観光振興事業など多分野にわたります。鶴岡地域の広域コミュニティ組織でコミュニティビジネスに取り組んでいるのは2 地域ですが、検討を行ったものの事業実施には至っていない地域もあります。 コミュニティビジネスは、地域課題解決の持続的な取組となるほか、地域コミュニティの活性化や社会参画の場としての機能などの効果も期待されることから検討の必要性が高まっています。	P44	リード 文	地域課題を解決する方法の1 つにコミュニティビジネスがあります。コミュニティビジネスは、地域の課題をビジネスの手法で解決しながら、地域を活性化させる事業や取組みです。その分野は、住民ニーズはあるものの、行政や企業では対応が困難であった 観光や福祉等多様な分野に渡ります。 コミュニティビジネスは、単に自主財源を得るという目的にとどまらず、自分の得意とする分野で活躍できる場 を提供するという点でも期待されます。 また、地域課題解決の持続的な取組みとなるほか、地域コミュニティの活性化や社会参画の場としての機能などの効果も期待されることから、地域課題解決の方法の 1 つとして検討する必要性 があります。
具体的 取組の例 1つめ	○コミュニティビジネスの取組に向けた検討	P44	具体的 取組の例 1つめ	○コミュニティビジネスの検討と実践

4 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (1) 鶴岡地域	
⑥「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり			⑥「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛の醸成と次世代へつなぐ環境づくり	
リード 文	住環境や生活スタイルの変化により、地域への関心が希薄化しているほか、小 学校の統廃合が行われた地区では、地区と学校が協力して取り組んできた事業 がなくなるなど、日常における大人と子どもの接点が <u>少なくなり</u> 、地域活力の低下 等が懸念されます。 今後は、 <u>子どもの成長を軸として</u> 、地域と学校が連携・協働して地域学校協働活 動を推進し、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、住民のつなが りを深めながら地域の活性化を図ることが必要です。	P44 P45	リード 文	住環境や生活スタイルの変化により、地域への関心が希薄化しているほか、小 学校の統廃合が行われた地区では、地区と学校が協力して取り組んできた事業 がなくなるなど 日常における大人と子どもの接点が <u>なくなり</u> 、地域活力の低下が 懸念されます。 今後は、地域と学校が連携・協働して <u>コミュニティスクール</u> と地域学校協働活動を 推進し、地域の将来を担う人材の育成を図るとともに、住民のつながり を深めながら地域の活性化を図ることが必要です。
具体的 取組の例 2つめ	○放課後子ども教室等を活用した、子どもたちの <u>郷土愛を育む地域教育活動の 実践</u>	P45	具体的 取組の例 2つめ	○放課後子ども教室等を活用した、子どもたちと <u>地域の温かなつながりの場の構 築</u>
具体的 取組の例 3つめ	○地域と学校の連携・協働による <u>コミュニティスクール</u> の導入と地域学校協働活 動の推進	P45	具体的 取組の例 3つめ	○地域と学校の連携・協働によ る <u>コミュニティスクー ル</u> と地域学校協働活動の推 進

第2期計画		第3期計画(素案)	
4 地域課題と取組 (2) 藤島地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2) 藤島地域
リード文	藤島地域は、旧来中心部は商工業が集積する一方で、その周辺部は水田農業地帯として発展し、これらの担い手である商工業者や農業者を中心にコミュニティ活動が行われてきました。しかし、農業情勢や産業構造の変化等、地域コミュニティをめぐる現状は変化し、これを支える担い手が減少してきています。 また、藤島地域の中心部に市街地を形成する藤島元町地区は、周辺部の宅地開発により世帯数が漸増していますが、コミュニティへの帰属意識が低下する中で、良好な近隣関係を築くことが難しくなっています。一方、藤島元町地区及びその周辺以外では、少子高齢化と若者の流出による人口の減少が続き、単位自治組織における機能維持が難しくなる等、組織の立地環境により課題も異なっています。 このような背景から、平成25 年度に、安全・安心のまちづくりに向け、機能維持が難しくなりつつある単位自治組織への機能補完や、単位自治組織だけでは解決できない防災や福祉等の様々な地域課題に広域的に取り組むため、各地区単位に広域コミュニティ組織が新たに設立されました。また、地域課題の解決を図る、藤島地区では平成29 年に地域ビジョンを作成し、地域の問題解決に取り組んでいます。 これまでの単位自治組織の活動に加えて、広域的なコミュニティ活動の展開により、地域課題の解決を図りながら、子どもから高齢者まで、仲良く住みよい藤島づくりに取り組みます。	P46	リード文 藤島地域は、旧来中心部は商工業が集積する一方で、その周辺部は水田農業地帯として発展し、これらの担い手である商工業者や農業者を中心にコミュニティ活動が行われてきました。しかし、農業情勢や産業構造の変化等、地域コミュニティをめぐる現状は変化し、これを支える担い手が減少してきています。 また、藤島地域の中心部に市街地を形成する藤島元町地区は、周辺部の宅地開発により世帯数が漸増していますが、コミュニティへの帰属意識が低下する中で、良好な近隣関係を 築くことが難しくなっています。一方、藤島元町地区及びその周辺以外では、少子高齢化と若者の流出による人口の減少が続き、単位自治組織における機能維持が難しくなる等、組織の立地環境により課題も異なっています。 このような背景から、平成25 年度に、安全・安心のまちづくりに向け、機能維持が難しくなりつつある単位自治組織への機能補完や、単位自治組 織だけでは解決できない防災や福祉等の様々な地域課題に広域的に取り組むため、各地区単位に広域コミュニティ組織が新たに設立されました。また、地域課題の解決を図るために、藤島地区では平 成 29 年に、<u>渡前地区では令和 6 年にそれぞれ地域ビジョンを作成し、地域の問題解決に取り組んでいます。</u> これまでの単位自治組織の活動に加えて、広域的なコミュニティ活動の展開により、地域課題の解決を図りながら、子どもから高齢者まで、仲良く住みよい藤島づくりに取 組みます。

4 地域課題と取組 (2) 藤島地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2) 藤島地域	
単位自治組織に係る課題と取組			単位自治組織に係る課題と取組	
①各世代が参加しやすい活動に再構築			①各世代が参加しやすい活動に再構築	
具体的 取組の例 3つめ	○子ども会や中高生などの若い世代、あるいは高齢者団体等が、それぞれの年代だけでなく幅広い年代を対象とする事業を企画・運営し、交流を広げる	P47	具体的 取組の例 3つめ	○幅広い世代がお互いに交流を促進できる 事業企画・運営
具体的 取組の例 4つめ	○住民自治組織の存在意義や役割、活動等を広報紙のほか、ホームページやSNSを併用して発信	P47	具体的 取組の例 4つめ	○住民自治組織の存在意義や役割・活動等を、広域コミュニティ組織と連携するなどして 広報紙のほか、ホームページやSNSを活用して発信
②将来を見据えた持続可能な組織づくり			②将来を見据えた持続可能な組織づくり	
具体的 取組の例 2つめ	○隣組や班などの統合再編など組織の見直しや、役員構成の見直し	P47	具体的 取組の例 2つめ	○隣組や班などの統合再編や、役員構成など組織の見直し
具体的 取組の例 3つめ	○現役世代が参加できる役員体制と共通認識づくり	P47	具体的 取組の例 3つめ	○現役世代が参加できる役員体制と負担軽減の検討
③広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し			③広域コミュニティ組織との連携による事業内容の見直し	
④広域コミュニティ組織と一体となった安全・安心な体制づくり			④ 広域コミュニティ組織と一体となった安全・安心な体制づくり	
リード 文	会員の高齢化・減少、若者の減少、さらに平日昼間の人口減少等、地域の防犯・防災体制(消防団等を含む)を弱体化させる要因が増えてきており、高齢者と子どもたちの安全・安心の確保のために、自主防災組織の機能強化と子どもの見守り体制の構築が必要です。単位自治組織での対応に限界がある場合には、広域コミュニティ組織と一体となって取り組みます。また近年、空き家も増加傾向にあるため、市と連携し所有者に適正管理や解体・活用を促し、空き家の長期化・老朽化を未然に防ぐ対策を講じる必要があります。	P48	リード 文	会員の高齢化や減少、若者の減少、さらに平日昼間の人口減少等、地域の防犯・防災体制(消防団等を含む)を弱体化させる要因が増えてきており、高齢者と子どもたちの安全・安心の確保のために、自主防災組織の機能強化と子どもの見守り体制の構築が必要です。単位自治組織での対応に限界がある場合には、広域コミュニティ組織と一体となって取り組みます。また近年、空き家も増加しているため、市と連携し所有者に適正管理や解体・活用を促し、空き家の長期化・老朽化を未然に防ぐ対策を講じる必要があります。
具体的 取組の例 1つめ	○自主防災計画の見直しなど自主防災組織の機能点検の実施	P48	具体的 取組の例 1つめ	○継続した自主防災計画の見直しなど自主防災組織の機能点検の実施
具体的 取組の例 2つめ	○定期的な防災訓練の実施	P48	具体的 取組の例 2つめ	○広域コミュニティ組織と連携し、定期的な防災訓練の実施
具体的 取組の例 3つめ	○緊急時や災害時に備えた住民情報の収集とその適正管理	P48	具体的 取組の例 3つめ	○緊急時や災害時に備えた継続的な住民情報の収集・更新とその適正管理

4 地域課題と取組 (2) 藤島地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2) 藤島地域	
具体的 取組の例 6つめ	○空き家情報の把握と市への情報提供	P48	具体的 取組の例 6つめ	○空き家情報の把握と市との情報共有
⑤地域福祉を近隣の輪で支える体制を再構築			⑤地域福祉を近隣の輪で支える体制を再構築	
具体的 取組の例 2つめ	○高齢者の方々の知見と経験を活かす地域福祉活動	P48	具体的 取組の例 2つめ	○地域住民の知見と経験を活かす地域福祉活動
具体的 取組の例 3つめ	○有償ボランティアの検討など、持続可能な地域福祉の構築	P48	具体的 取組の例 3つめ	○有償ボランティアを含めた地域での助け合い活動の検討など、持続可能な地域福祉の構築
具体的 取組の例 5つめ	○課題や将来像を共有する場づくり	P48	具体的 取組の例 5つめ	○地域の課題や将来像を共有する場づくり
⑥「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり			⑤「ここで暮らしたい」と思える郷土愛を育む環境づくり(一部削除)	
具体的 取組の例 1つめ	○子どもたちから地域活動に関わることができるように、開催日や運営形態等の工夫	P48	具体的 取組の例 1つめ	○幼少期から地域活動に関わることができるように、開催日や運営方法等の工夫
具体的 取組の例 2つめ	○伝統行事や伝統芸能への理解促進と継承活動の支援	P48	具体的 取組の例 2つめ	○伝統行事や伝統芸能への理解促進と継承活動の支援及び後継者の育成
広域コミュニティ組織に係る課題と取組			広域コミュニティ組織に係る課題と取組	
①地区自治振興会を核とした活動の推進			①地区自治振興会を核とした活動の推進	
具体的 取組の例 2つめ	○各種団体・組織の統合・再編の検討	P49	具体的 取組の例 2つめ	○各種団体・組織の統合や再編の検討
具体的 取組の例 4つめ	○住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定	P49	具体的 取組の例 4つめ	○住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定と見直し
具体的 取組の例 5つめ	○各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体)による情報交換会の開催、連携に向けた検討	P49	具体的 取組の例 5つめ	各種団体組織(広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体)による情報交換会の開催継続と連携強化

4 地域課題と取組 (2) 藤島地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2) 藤島地域	
具体的 取組の例 6つめ	○アドバイザー職員による行政側の情報提供、地域課題の <u>情報収集</u> 、解決に向けた取組支援	P49	具体的 取組の例 6つめ	○アドバイザー職員による行政側の情報提供、地域課題の <u>整理検討</u> 、解決に向けた <u>取組み支援</u>
②持続可能な運営方法の確立			②持続可能な運営方法の確立	
具体的 取組の例 1つめ	○会費の <u>あり方</u> の検討	P49	具体的 取組の例 1つめ	○ <u>適正な会費</u> の検討
具体的 取組の例 3つめ	○地域資源を活かしたコミュニティビジネスの導入 ※削除			
③地区内外の団体との連携強化			③地区内外の団体との連携強化	
具体的 取組の例 1つめ	○各種団体組織（広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体）による意見交換会の開催、連携に向けた検討	P49	具体的 取組の例 1つめ	○各種団体組織（広域コミュニティ組織、単位自治組織、社会福祉協議会等の団体）による <u>情報</u> 交換会の開催、 <u>継続と連携強化</u>
具体的 取組の例 2つめ	○人材育成のための研修機会の充実（単位自治組織若手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、 <u>コミセン職員研修会</u> 等）	P49	具体的 取組の例 2つめ	○人材育成のための研修機会の充実（単位自治組織役員や担い手を対象とした研修会、PTAと連携しての地域人材育成研修会、 <u>広域コミュニティ組織職員研修会</u> 等）
具体的 取組の例 3つめ	○町内会長連絡協議会等地域全域で構成される組織と広域コミュニティ組織との <u>連絡調整会議の開催</u> ※削除	P49	具体的 取組の例 3つめ	○少子化や高齢化により、実施困難となっている単位自治組織事業に対する <u>広域化による支援</u> ※新規
④福祉と防災で新たな役割を確立			④福祉と防災で新たな役割を確立	
具体的 取組の例 4つめ	○関係団体等との協働による <u>防災訓練の実施</u> ※第3期具体的取組の例④5つめへ	P50	具体的 取組の例 4つめ	○高齢者の生活ニーズを踏まえ、持続可能な課題解決の手段として、 <u>有償ボランティア導入や新たな仕組みの検討</u> ※第2期具体的取組の例④5つめより
具体的 取組の例 5つめ	○高齢者の生活ニーズを踏まえ、持続可能な課題解決の手段として、 <u>コミュニティビジネスの取組に向けた検討</u>	P50	具体的 取組の例 5つめ	○関係団体等との協働により防災意識の高揚を促す講習会や実効性のある <u>防災訓練の実施</u> ※第2期具体的取組の例④4つめより
具体的 取組の例 6つめ	○中学生・高校生の防災意識の高揚（ <u>応急処置講習会、防災訓練への参画</u> ） ※削除	P50	具体的 取組の例 6つめ	○災害に即応し、自助共助が発揮できる <u>組織体制づくりの推進</u>

4 地域課題と取組 (2) 藤島地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2) 藤島地域	
具体的 取組の例 7つめ	○災害に即応し、自助共助が発揮できる <u>まちづくり</u> の推進	P50	具体的 取組の例 7つめ	○全域化となった地域公共交通体制を、持続可能なものとするための利活用促進 ※新規
⑤「ここで暮らしたい」と思えるような郷土愛を育む環境づくり			⑤「ここで暮らしたい」と思える郷土愛を育む環境づくり	
具体的 取組の例 2つめ	○この地域でなければ経験できない伝統芸能、食生活、スポーツなどに、 <u>子ども</u> <u>のころ</u> から触れ合う事業を実施	P50	具体的 取組の例 2つめ	この地域でなければ経験できない伝統芸能、食生活、 <u>自然体験</u> 、スポーツ 等に、 <u>幼少期</u> から触れ合う事業の実施
具体的 取組の例 3つめ	○地域と学校の連携・協働によるコミュニティスクールの <u>導入</u> と地域学校協働活動の推進	P50	具体的 取組の例 3つめ	○世代間交流促進を意識した各種事業の展開 ※新規
		P50	具体的 取組の例 4つめ	○コミュニティスクールを核とした、地域と学校の協働活動 の強化促進

鶴岡市地域コミュニティ推進計画 新旧対照表

★修正箇所には下線が引いてあります。

第2期計画		第3期計画(素案)	
4 地域課題と取組 (3)羽黒地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (3)羽黒地域
リード文	羽黒地域には、小規模な単位自治組織が多く、人口減少等に伴う活動の低下が懸念されるため、平成26年度に機能維持が難しくなりつつある単位自治組織の機能補完や単位自治組織では解決できない多様な地域課題に広域的に取組むため、地区を単位とした広域コミュニティ組織が新たに設立されました。 今後、特に必要性が高まる地域住民の安全・安心な暮らしの確保をはじめとした地域課題の解決を図るため、それぞれの地区の実態を十分に踏まえながら、持続可能な組織運営に取り組めます。 さらに、4つの広域コミュニティ組織は、地域コミュニティに関わる組織・団体が、昭和30年までの旧3村単位で活動する団体や、羽黒全域で活動する団体・組織が混在している状況にあるため、これらの組織・団体間と交流を図るとともに、一層の協働・連携により、地域コミュニティの基盤強化を図ります。 また、本地域は、出羽三山や史跡松ヶ岡開墾場など歴史的な観光資源に恵まれています。この地域特性を活かし、地域内外へ歴史文化を広く発信し、羽黒らしい自然や歴史に触れる空間や、人が集い・交流が生まれる事業を展開していきます。あわせて子どもから高齢者まで共に楽しく地域づくりに参画できる環境を整備し、笑顔あふれる地域活動を推進していきます。	P51	リード文 羽黒地域では、平成26年度に、市の広域的なコミュニティ組織づくりの推進施策を受けて、少子高齢化、人口減少等に伴い機能維持が難しくなりつつある単位自治組織集落の機能補完や単位自治組織では解決できない多様な地域課題に広域的に取組むため、地区公民館の区域を単位とした4つの広域コミュニティ組織が設立されました。 今後、特に必要性が高まる地域住民の安全・安心な暮らしの確保をはじめとした地域課題の解決を図るため、それぞれの地区の実態を十分に踏まえながら、持続可能な組織運営に取り組めます。 なお、4つの広域コミュニティ組織は、地域コミュニティに関わる組織、団体が、昭和30年までの旧3村の区域単位で活動するものや、羽黒全域で活動するものが混在している状況にあります。一方で、区域の基準となっていた小学校が、平成30年までに4校から2校へ統合再編され、小学校との関りに大きな変化が生じています。地域の組織、団体間と交流を図るとともに、一層の協働・連携により、地域コミュニティの基盤強化を図ります。 また、本地域は、出羽三山や史跡松ヶ岡開墾場など歴史的な観光資源に恵まれています。この地域特性を活かし、地域内外へ歴史文化を広く発信し、羽黒らしい自然や歴史に触れる空間や、人が集い・交流が生まれる事業を展開していきます。あわせて子どもから高齢者まで共に楽しく地域づくりに参画できる環境を整備し、笑顔あふれる地域活動を推進していきます。

4 地域課題と取組 (3)羽黒地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (3)羽黒地域	
単位自治組織に係る課題と取組			単位自治組織に係る課題と取組	
①将来を見据えた持続可能な組織づくり			①将来を見据えた持続可能な組織づくり	
リード 文	少子高齢化の進展に伴い、会員減少や高齢者世帯の減免に伴う会費収入減により、単位自治組織の財政運営や共同作業が難しくなっており、特に小規模組織では従前の活動維持に留まっています。 持続可能な組織づくりのために、財政運営や既存事業及び共同作業を見直し、広域コミュニティ組織との連携による役割分担の明確化、さらに近隣の単位自治組織間との <u>助け合いによる機能維持</u> に取組む必要があります。	P52	リード 文	少子高齢化の進展に伴い、会員減少や高齢者世帯の減免に伴う会費収入減により、単位自治組織の運営財源の確保が問題となっております。 また、人的要因により集落行事等の共同作業が難しくなっており、特に小規模組織では従前の活動維持に留まっています。 持続可能な組織づくりのために、財政運営や既存事業及び集落行事等の共同作業を見直し、広域コミュニティ組織との連携による役割分担の明確化、さらに近隣の集落との <u>情報交換や課題の共有</u> に取組む必要があります。
具体的 取組の例 2つめ	○ <u>将来を見据えた会費のあり方の検討</u> と、共同作業の <u>見直し</u>	P52	具体的 取組の例 2つめ	○ <u>減免制度を含む集落会費、共同作業のあり方の検討</u>
具体的 取組の例 3つめ	○近隣する単位自治組織との <u>交流と協力体制の構築</u>	P52	具体的 取組の例 3つめ	○近隣の単位自治組織との <u>情報交換や課題の共有</u>
具体的 取組の例 4つめ	○ <u>新しい生活様式に対応し、SNSやオンライン化の導入の検討</u>	P52	具体的 取組の例 4つめ	○運営の効率化及び若者世代の参画促進に向けたSNS活用などデジタル化の <u>推進</u>
②多様な人材の活用と役員等の負担軽減			②多様な人材の登用と役員等の負担軽減	
リード 文	<u>就労形態の多様化等により住民総参加型の交流の機会が少なくなり、地域が創り上げてきた連帯感が薄れてきています。</u> また役員は概ね輪番制で選出されていますが、単位自治組織の長は、市や各種団体の役職も複数担っていることから負担も大きくなっています。 今後、役員の負担軽減のために、市や各種団体と連携し組織体制の見直しを図るとともに、若者や女性等多様な人材が活躍できる機会を拡充し、住民自治組織の役割や必要性の理解を深める仕組みづくりが必要です。	P52	リード 文	単位自治組織の役員は概ね輪番制で選出されているところが大半で、 <u>以前と比べて任期も短くなっており、働いている世代の人が役員を担っている集落が多くあります。</u> さらには市や各種団体の役職も複数担っていることから、単位自治組織役員個人の負担も大きくなっています。 今後、役員の負担軽減のために、市や各種団体と連携し組織体制の見直しを図るとともに、若者や女性等多様な人材が活躍できる機会を拡充し、住民自治組織の役割や必要性の理解を深める仕組みづくりが必要です。
具体的 取組の例 1つめ	○役員の負担軽減につながる <u>効果的な組織体制の見直し</u>	P53	具体的 取組の例 1つめ	○役員の負担軽減につながる組織体制の見直し
		P53	具体的 取組の例 4つめ	○ <u>次世代を担う若者の育成</u> ※新規

4 地域課題と取組 (3)羽黒地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (3)羽黒地域	
③多世代が交流し、あいさつを交わし合える地域づくり			③多世代が交流し、あいさつを交わし合える地域づくり	
リード 文	少子化による小学校の再編とスポーツ少年団等の活動により、親子事業の参加率が低くなっています。また携帯電話やゲーム等の普及により、隣近所で顔を会わす機会が減り、地域と子どものつながりが薄れ地域活力の低下が懸念されています。 そのため、多世代間の交流を促進し、人と人とのつながりを通して、思いやりの心の醸成と郷土愛を育む取組が必要です。	P53	リード 文	子どもや親世代がスポーツ少年団活動、習い事などにより忙しく、さらに少子化や就労形態、地域コミュニティに対する価値観の多様化により伝統行事や地域活動への参加者が減少しています。隣近所で顔を会わす機会も減り、地域と子どものつながりが薄れ地域活力の低下が懸念されています。 そのため、多世代間の交流を推進し、誰もが参加しやすい企画・運営の仕組みづくりを構築することで、人と人とのつながりを通して、笑顔であいさつを交わし気軽に話し合える雰囲気や場づくりと郷土愛を育む取組が必要です。
具体的 取組の例 1つめ	○地域の特性を活かした多世代参加・交流型事業の開催	P53	具体的 取組の例 1つめ	○地域の特性を活かした多世代交流の推進
具体的 取組の例 4つめ	○子どもが地域の大人とつながり、体験を通して地域の魅力を知ることによるふるさと大好きな子どもの育成	P53	具体的 取組の例 4つめ	○地域の人々との交流や地域の魅力に直接触れる体験を通じた多世代の郷土愛の育成
④お互いを見守り支え合う安全で安心な地域づくり			④お互いを見守り支え合う安全で安心な地域づくり	
リード 文	自主防災会は組織されていますが、会員の高齢化、さらに平日昼間人口の減少等、地域の防犯・防災体制を弱体化する要因が増えています。 また、高齢者や要支援者が増加しており、単位自治組織だけでは対応に限界があることから、有事の際に他組織との連携・協力体制の構築が必要です。 近年、空き家も増加傾向にあるため、市と連携し早期に所有者を特定して、適正管理や解体・活用を促し、空き家の長期化・老朽化を未然に防ぐ対策を講じることが必要です。	P53	リード 文	自主防災会は組織されていますが、会員の高齢化や帰属意識の低下等、地域の防犯・防災体制を弱体化する要因が増えています。 また、一人暮らし世帯や要支援者が増加しており、単位自治組織だけでは対応に限界があることから、有事の際に社会福祉協議会等、他組織との連携・協力体制の構築が必要です。 近年、空き家も増加傾向にあるため、市と連携し早期に所有者を特定して、適正管理や解体・活用を促し、空き家の長期化・老朽化を未然に防ぐ対策を講じることが必要です。
具体的 取組の例 1つめ	○自主防災組織の機能点検及び広域コミュニティ組織と連携した事業体制の構築	P54	具体的 取組の例 1つめ	○自主防災組織の地区防災計画の推進及び広域コミュニティ組織と連携した事業体制の構築
具体的 取組の例 3つめ	○他団体と連携した高齢者等交流・支援活動の実施	P54	具体的 取組の例 3つめ	○社会福祉協議会等、他組織と連携した高齢者等交流・支援活動の実施
具体的 取組の例 4つめ	○空き家情報の把握と市への情報提供	P54	具体的 取組の例 4つめ	○空き家の実態把握と所有者に対する適正管理の助言

4 地域課題と取組 (3)羽黒地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (3)羽黒地域	
広域コミュニティ組織に係る課題と取組			広域コミュニティ組織に係る課題と取組	
①身近な地域の居場所づくり			①地区の将来を見据えた組織運営	
リード 文	平成26年に発足した広域コミュニティ組織の活動へ、地域住民の <u>一定の理解は得られています</u> が、依然として事業運営にゆとりがないため、 <u>新たな財政確保として、適正な受益者負担の検討や地域資源を活かしたコミュニティビジネスの取組が必要です</u> 。 また、住民ニーズに対応した事業・企画運営の実施、情報発信力の強化を行うとともに、住民にとって色々「あったらいいな」を実現し地域住民の自然な交流を促した拠点施設を目指します。	P54	リード 文	広域コミュニティ組織は、平成26年に発足して以来10年以上に渡って広域コミュニティ活動を展開し、住民の意見を集約した地域ビジョンの策定にも取組みました。 今後、少子高齢化、人口減少により集落機能維持が一層難しくなることが見込まれる中で集落機能の補完や広域的な課題の解決、生涯学習活動の推進に取組み続けるために、地域活動センターを通して、より多くの地域住民に、子どもの頃から親しみを持ってもらい、つながりを一層深め、地域運営に参加してもらえるようにする取組が必要です。個々の事業においても、内容の定型化、参加者の固定化にならないよう、若者や子ども、関わりのなかった住民の新しい発想を取り入れることで、事業の刷新のほか新しいことにも取組み、多世代の交流にもつなげていくような気風を醸成することも求められます。 また、広域コミュニティ組織のほとんどは、市からの交付金、指定管理委託料以外に運営財源がなく、事業運営にゆとりがない状況です。広域コミュニティ活動に取組む組織として、地区の将来と役割りを見据えながら、組織運営のあり方を検討し、これを支え得る収支体系としていくことも求められます。
具体的 取組の例 1つめ	○広域コミュニティ活動についての研修会や情報交換	P54	具体的 取組の例 1つめ	○広域コミュニティ組織に関する研修会の開催、情報交換の実施
具体的 取組の例 2つめ	○広域コミュニティ活動の地域内外への発信	P54	具体的 取組の例 2つめ	○広域コミュニティ組織の意義、活動内容の地域内外への発信
具体的 取組の例 3つめ	○地域資源を活かしたコミュニティビジネスの取組に向けた検討 ※第3期具体的取組①8つめへ	P54	具体的 取組の例 3つめ	○子どもの頃から地区自治振興会の事業に親しめる機会、仕組みづくり ※新規
具体的 取組の例 4つめ	○適正な受益者負担の検討 ※第3期具体的取組①5つめへ	P54	具体的 取組の例 4つめ	○若い世代が語り合いに参加し地域運営への参加意識を持てる機会の創出 ※新規
		P54	具体的 取組の例 5つめ	○広域コミュニティ組織の運営のあり方の検討と会費収入等の検討 ※第2期具体的取組①4つめより
		P54	具体的 取組の例 6つめ	○地域資源を活かしたコミュニティビジネス、住民の生活需要に密着したコミュニティビジネスの取組みに向けた検討 ※第2期具体的取組①3つめより

4 地域課題と取組 (3)羽黒地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (3)羽黒地域	
②単位自治組織と連携した事業体制と新たな人材育成			②単位自治組織など地区内の組織との連携と人材の育成	
具体的 取組の例 1つめ	○広域コミュニティ組織による単位自治組織への支援	P55	具体的 取組の例 1つめ	○単位自治組織の実態の把握と必要な支援の検討
具体的 取組の例 2つめ	○地域の現状と目指すまちの姿を共有し、地区住民の声を反映した「地域ビジョン」の策定	P55	具体的 取組の例 2つめ	○地域課題解決のための情報交換や話し合いの実施
具体的 取組の例 3つめ	○地域活動に参加する契機の創出 ※第3期具体的取組②4つめへ	P55	具体的 取組の例 3つめ	○地域コミュニティに関わる団体・組織との交流 ※第2期具体的取組②4つめより
具体的 取組の例 4つめ	○地域コミュニティに関わる団体・組織との交流 ※第3期具体的取組②3つめへ	P55	具体的 取組の例 4つめ	○参加しやすく人材の発掘につながる地域活動、行事の工夫 ※第2期具体的取組②3つめより
具体的 取組の例 5つめ	○新たなリーダー輩出につながる、サブリーダーからの人材育成と達成感を感じる仕掛けづくり	P55	具体的 取組の例 5つめ	○新たな担い手の輩出につながる人材育成と事業で達成感を感じる仕掛けづくり
③郷土愛を育む学びの場と地域の魅力を発信できる仕組みづくり			③郷土愛を育む学びの場と地域の魅力を発信できる仕組みづくり	
具体的 取組の例 1つめ	○子どもたちの郷土愛を育む社会教育活動の実践	P55	具体的 取組の例 1つめ	○子どもたちが地域の自然、歴史、文化、伝統、産業などを学び郷土愛を育む社会教育活動の実践
具体的 取組の例 2つめ	○小学校等と連携した協働活動の推進	P55	具体的 取組の例 2つめ	○地域が小中学校に関わるコミュニティスクール(学校運営協議会)への協力、支援
具体的 取組の例 4つめ	○新しい生活様式に対応し、SNSやオンライン化の導入を検討	P55	具体的 取組の例 3つめ	○地域学校共同活動の推進に向けた地区住民と小中学校との連携協力の気風の醸成、体制の構築などの検討、推進 ※新規
		P55	具体的 取組の例 6つめ	○若者世代の参画促進に向けたSNS活用などデジタル化の推進 ※新規
④自主防災組織と連携した防災の体制づくり			④自主防災組織と連携した防災の体制づくり	
リード 文	「地域の安全は地域で守る」理念のもと、普段から顔を合わせている近隣の人々の共助の体制の構築を支援し、日頃から地域の実情と課題の把握に努め、それを踏まえた防災訓練を実施して地域防災力を高めることが必要です。 また、地区内の情報の取りまとめや情報伝達を円滑に行うために、単位自治組織自主防災会や市と協力・連携体制の構築を図ることが必要です。	P55	リード 文	「地域の安全は地域で守る」理念のもと、普段から顔を合わせている近隣の人々の共助の体制の構築を支援し、日頃から地域の実情と課題の把握に努め、それを踏まえた防災訓練を実施して地域防災力を高めることが必要です。 また、地区内の情報の取りまとめや情報伝達を円滑に行うために、集落自主防災会や市と協力・連携体制の構築を図ることが必要です。

4 地域課題と取組 (3)羽黒地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (3)羽黒地域	
具体的 取組の例 2つめ	○単位自治組織の自主防災会への働きかけや支援	P55	具体的 取組の例 2つめ	○単位自治組織(集落)の自主防災会への働きかけや支援
⑤安心して暮らし続けられるコミュニティづくり			⑤安心して暮らし続けられるコミュニティづくり	
リード 文	高齢者や要支援者などの見守りについて、対応が難しい単位自治組織については、広域コミュニティ組織や近隣の単位自治組織による支援が必要となり、民生委員・児童委員や社会福祉協議会等とともに連携して対応する必要があります。 <u>近年、空き家も増加傾向にあるため、発生抑制のための研修会を実施し、空き家の解体・利活用を促進し、不良空き家予防対策を講じる必要があります。</u>	P56	リード 文	高齢者や要支援者などの見守りについて、対応が難しい単位自治組織については、広域コミュニティ組織や近隣の単位自治組織による支援が必要となり、民生委員・児童委員や社会福祉協議会等とともに連携して対応する必要があります。
具体的 取組の例 3つめ	○不良空き家化の予防啓発 ※削除			

鶴岡市地域コミュニティ推進計画 新旧対照表

★修正箇所の下線が引いてあります。

第2期計画		第3期計画(素案)	
4 地域課題と取組 (2) 櫛引地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2) 櫛引地域
リード文	櫛引地域では、昭和の大合併時の新村誕生から新村の融和促進を図る観点で旧村単位の組織を設けず全村的な組織づくりが進められてきたことから、小学校区単位の地区公民館が設置されてきませんでした。そのため地域コミュニティは単位自治組織を中心にして、それぞれの地域特性を活かした活動が行われてきています。また、地域の実態を踏まえながら組織の活性化に向けて統廃合を行い、21組織まで集約されてきた歴史的経過があります。 しかし、人口減少と高齢化の進行、ライフスタイルの多様化により、年々、地域コミュニティを取り巻く背景は複雑となっています。また昨今の自然災害の激甚化など防災をはじめ、福祉・防犯といった地域課題を、単位自治組織や各種団体の活動だけで課題解決するには、さらに難しくなっており、既存の地域活動を効率・効果的に展開する仕組みづくりや、これからの単位自治組織の運営を見据えた組織づくりが必要なことから、引き続き広域コミュニティ組織の検討と、各組織が連携・協力する体制づくりに取組みます。 また、地域資源を活かした地域活性化イベントを実施するなど、担い手の育成、確保による地域活性化を促進し、地域コミュニティ機能の維持・充実へつなげます。	P57	リード文 櫛引地域では、昭和の大合併時の新村誕生から新村の融和促進を図る観点で旧村単位の組織を設けず全村的な組織づくりが進められてきたことから、小学校区単位の地区公民館が設置されてきませんでした。そのため地域コミュニティは単位自治組織を中心にして、それぞれの地域特性を活かした活動が行われてきています。また、地域の実態を踏まえながら組織の活性化に向けて統廃合を行い、21組織まで集約されてきた歴史的経過があります。 しかし、人口減少と高齢化の進行、ライフスタイルの多様化により、年々、地域コミュニティを取り巻く背景は複雑となっており、<u>これまでと同じ体制を持続していくことは難しい状況にあります。</u>また昨今の自然災害の激甚化など防災をはじめ、福祉・防犯といった地域課題を、単位自治組織や各種団体の活動だけで課題解決することは、さらに難しくなっており、既存の地域活動を効率・効果的に展開する仕組みづくりや、これからの単位自治組織の運営を見据えた組織づくりが必要です。<u>このことから、引き続き広域コミュニティ組織の検討と、各組織が連携・協力する体制づくりに取組みます。</u> また、地域資源を活かした地域活性化イベントを実施するなど、担い手の育成、確保による地域活性化を促進し、地域コミュニティ機能の維持・充実へつなげます。

4 地域課題と取組 (2) 櫛引地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2) 櫛引地域	
単位自治組織に係る課題と取組			単位自治組織に係る課題と取組	
②住民自治組織等の理解促進と事業の見直し(①へ)			①住民同士がつながっていく自治組織等の維持(②より)	
リード 文	人口減少、高齢化の進行とともに会員は減少傾向にあります。また、就労形態の多様化等により役員を担うことを負担に感じる人も多くなっており、数年先の担い手が心配されるという状況も見受けられます。加えて、婦人会や老人クラブ等の各種団体では新たな加入者が少なくなっているため、新たな事業等に取り組むことが容易ではなく、算段しながら従前の活動維持に努めている状況も見受けられます。 持続可能な組織づくりのためには、住民自治組織等の役割や必要性を明確にして理解を深めるとともに、組織の維持・活性化に向けた事業の見直しや検討が必要です。	P57	リード 文	人口減少、高齢化の進行とともに会員は減少傾向にあります。また、就労形態の多様化等により役員を担うことを負担に感じる人も多くなっており、数年先の担い手が心配されるという状況も見受けられます。加えて、婦人会や老人クラブ等の各種団体では新たな加入者が少なくなっているため、新たな事業等に取り組むことが容易ではなく、算段しながら従前の活動維持に努めている状況にあります。 持続可能な組織づくりのためには、住民自治組織等の役割や必要性を明確にして理解を深めるとともに、組織の維持・活性化に向けた事業の見直しや検討が必要です。
具体的 取組の例 1つめ	○住民自治組織等の存在意義や役割等を共有する場づくり ※第3期具体的取組①2つめへ	P58	具体的 取組の例 1つめ	○一体感を醸成するため年齢や性別によらず参加できる事業の実施と参加 ※第2期具体的取組②2つめより
具体的 取組の例 2つめ	○一体感を醸成するための子どもから高齢者まで参加できる事業の実践 ※第3期具体的取組①1つめへ	P58	具体的 取組の例 2つめ	○住民自治組織等の存在意義や役割等を共有する場づくり ※第2期具体的取組②1つめより
具体的 取組の例 3つめ	○市民まちづくり活動促進事業補助金等、 <u>地域コミュニティの課題解決のための事業の活用</u> ※第3期具体的取組①7つめへ	P58	具体的 取組の例 3つめ	○事業活動の見直しとともに将来を見据えた適正な予算規模の検証 ※第2期具体的取組④4つめより
具体的 取組の例 3つめ	○事業活動の見直しとともに適正な自治会費の検証 ※第3期具体的取組①3つめへ	P58	具体的 取組の例 4つめ	○若者や女性の参画に向けた住民ニーズの把握 ※第2期具体的取組⑤5つめより
具体的 取組の例 5つめ	○若者や女性の参画に向けた住民ニーズの把握 ※第3期具体的取組①4つめへ	P58	具体的 取組の例 5つめ	○組織や活動等理解してもらえるよう総会資料の工夫や広報の検討 ※新規
具体的 取組の例 6つめ	○SNSの活用などによる役員負担の減 ※第3期具体的取組①6つめへ	P58	具体的 取組の例 6つめ	○SNSの活用などによる役員負担の軽減と情報発信 ※第2期具体的取組⑤5つめより
		P58	具体的 取組の例 7つめ	○地域コミュニティの課題解決のため、 <u>市や県の支援事業を活用</u> ※第2期具体的取組③3つめより

4 地域課題と取組 (2) 櫛引地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2) 櫛引地域	
③次代を担う人材育成と後継者対策(②へ)			②次代を担う人材育成と後継者対策(③より)	
リード 文	生産年齢世代(青・壮年層)の流出や、参加意識の希薄さ等が要因して、今後地域活動の担い手不足はより顕著になると見込まれます。 後継者づくりについては、各地域で伝承する能や天狗舞・獅子舞などの伝統文化の継承が郷土愛を育み、地域コミュニティの活性化を支える大きな力となっており、若者が地元に残って就労できる生活基盤の確保と、地域内でも仕事や家庭において充実した生活が送れる環境づくりが重要な課題となっています。 また、少子化の大きな要因である未婚化・晩婚化は、地域コミュニティにとっても影響が大きく、地域からの後押しによる婚活支援も必要です。 さらに、少子化対策としては、子育てしやすい環境づくりも重要であり、地域の実態を十分に勘案しながら、地域コミュニティにおける子育ての支援体制の構築が必要です。	P58	リード 文	生産年齢世代(青・壮年層)の流出や、参加意識の希薄さ等が要因して、今後地域活動の担い手不足は顕著になってきました。 後継者づくりについては、各地域で伝承する能や天狗舞・獅子舞などの伝統文化の継承が郷土愛を育み、地域コミュニティの活性化を支える大きな力となっており、若者が地元に残って就労できる生活基盤の確保と、地域内でも仕事や家庭において充実した生活が送れる環境づくりが重要な課題となっています。 また、少子化対策として、子育てしやすい環境づくりも重要であり、地域の実態を十分に勘案しながら、地域コミュニティにおける子育ての支援体制の構築が必要です。
具体的 取組の例 1つめ	○民俗芸能や伝統文化への理解促進と継承活動の支援 ※第3期具体的取組②3つめへ	P58	具体的 取組の例 1つめ	○子どもの頃から地域固有の歴史や文化、伝統、産業などへの理解を促す機会づくり ※第2期具体的取組③2つめより
具体的 取組の例 2つめ	○子どもの頃から地域固有の歴史や文化、伝統、産業などへの理解を促す機会づくり ※第3期具体的取組②1つめへ	P58	具体的 取組の例 2つめ	○ <u>地域の特徴や魅力を伝え、共有できる機会づくり</u> ※第2期具体的取組③3つめより
具体的 取組の例 3つめ	○地域の特徴である果樹栽培を始めとした農業の魅力を伝え、若者が就労先の一つとして選択できるような支援 ※第3期具体的取組②2つめへ	P58	具体的 取組の例 3つめ	○民俗芸能や伝統文化への理解促進と継承活動の支援 ※第2期具体的取組③1つめより
具体的 取組の例 4つめ	○ <u>結婚を後押しする雰囲気づくりと子育てしやすい環境づくり</u> ※削除	P58	具体的 取組の例 4つめ	○SNSの活用など、得意分野を活かした役割を分担することによって、 <u>年齢や性別によらず自分が必要とされる喜びや達成感を醸成し参画を促す</u> ※第2期具体的取組③6つめより
具体的 取組の例 5つめ	○ <u>つるおか婚シェルジュの周知と連携</u> ※削除	P58	具体的 取組の例 5つめ	○若者や女性の登用と参画のための仕組みづくり ※新規
具体的 取組の例 6つめ	○若者や女性を登用し、SNSの活用など、得意分野を活かした役割分担により、自分が必要とされている喜びや達成感を <u>感じる仕掛けづくり</u> ※第3期具体的取組②4つめへ	P58	具体的 取組の例 6つめ	○子どもから若者の参画のもと、農業生産者や <u>地区保全隊等</u> との連携による環境美化活動の実施 ※第2期具体的取組③7つめより
具体的 取組の例 7つめ	○若者の参画のもと、農業生産者等との連携による環境美化活動等の実施 ※第3期具体的取組②6つめへ	P58	具体的 取組の例 8つめ	○各地区と学校の連携・協働によるコミュニティスクールと地域学校協働活動の推進 ※第2期具体的取組③8つめより
具体的 取組の例 8つめ	○地域と学校の連携・協働によるコミュニティスクールの <u>導入</u> と地域学校協働活動の推進 ※第3期具体的取組②8つめへ			

4 地域課題と取組 (2) 櫛引地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2) 櫛引地域	
①広域コミュニティ組織の検討(③へ)			③広域コミュニティ組織や単位自治組織間連携と協力を生む組織の検討 (①より)	
リード 文	櫛引地域の単位自治組織は、今日まで集落の統廃合を行い、21組織まで集約されてきた歴史的経過があります。また、各集落は櫛引地域の中心部から車で10分以内の距離にありコンパクトな立地環境となっています。各単位自治組織の世帯数は、最小26から最大444世帯と幅があり、小規模な単位自治組織では活動が容易ではない組織も見受けられます。 今のところ単位自治組織の機能維持は喫緊の課題ではないものの、少子高齢化の進展により、近い将来直面する課題であり、他地域ではこれを補完する広域コミュニティが組織化されていることから、櫛引地域においても、地域のコミュニティ活動の実態を踏まえながら、広域コミュニティの組織化について検討が必要です。	P59	リード 文	櫛引地域の単位自治組織は、今日まで集落の統廃合を行い、21組織まで集約されてきた歴史的経過があります。各単位自治組織の世帯数は、最小26から最大444世帯と幅があり、小規模な単位自治組織では活動が容易ではない組織も見受けられます。また、各集落は櫛引地域の中心部から車で10分以内の距離にありコンパクトな立地環境となっています。 今のところ単位自治組織の機能維持は喫緊の課題ではないものの、少子高齢化の進展により、近い将来直面する課題であり、他地域ではこれを補完する広域コミュニティが組織化されていることから、櫛引地域においても、地域のコミュニティ活動の実態を踏まえながら、広域コミュニティの組織化について検討が必要です。
具体的 取組の例 1つめ	○近隣する単位自治組織との情報交換や交流と協力体制の検討 ※第3期具体的取組②2つめへ	P59	具体的 取組の例 1つめ	○地域の現状と課題から、将来のありたい姿について意見を交わす場や広域コミュニティを研究する場への参加と機会づくり ※第2期具体的取組①2つめ、①3つめの統合
具体的 取組の例 2つめ	○広域コミュニティ組織の活動を共有する機会と場づくり ※第3期具体的取組③1つめへ	P59	具体的 取組の例 2つめ	○近隣する単位自治組織との情報交換や交流と協力体制の検討 ※第2期具体的取組①1つめより
具体的 取組の例 3つめ	○単位自治組織の将来像の共有と区長会、自治公民館連絡協議会等との意見交換会の実施 ※第3期具体的取組③1つめへ	P59	具体的 取組の例 3つめ	○自立した広域自主防災組織の確立 ※新規
		P59	具体的 取組の例 4つめ	○日常生活や広域コミュニティ組織が設立した場合の拠点施設への移動手段の検討 ※新規
④安全・安心な地域の構築			④安全・安心な地域の構築	
リード 文	櫛引地域では、すべての単位自治組織に自主防災会が組織化されていますが、さらに機能を発揮するため、日頃から地域の現状と課題を把握し、それを踏まえた防災訓練を行うなど、地域防災力を高めていくことが必要です。 また、昼間の消防体制の確保が課題となっていることや、子どもたちの見守り隊の参加人数が減ってきていることなどから、「地域の安全は地域で守る」という理念のもと、普段から顔を合わせている近隣の人々が、互いに協力しながら、 <u>防災・防災活動に組織的に取組むことが必要です。</u>	P59	リード 文	櫛引地域では、すべての単位自治組織に自主防災会が組織化されていますが、さらに機能を発揮するため、日頃から地域の現状と課題を把握し、それを踏まえた防災訓練を行うなど、地域防災力を高めていくことが必要です。 また、昼間の消防体制の確保や、子どもたちの見守り隊の参加人数が減ってきていることなどから、「地域の安全は地域で守る」という理念のもと、 <u>自助と共助が重要になります。</u> 一方、今後、高齢者のみ世帯が更に増えていく状況にあることから、 <u>移動手段や除排雪など日常生活についても、普段から顔を合わせている近隣の人々が、互いに協力しながら、組織的に取組むことが必要です。</u>

4 地域課題と取組 (2) 櫛引地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2) 櫛引地域	
具体的 取組の例 1つめ	○防災意識の高揚を図るための定期的な防災訓練や防災座談会の開催 ※第3期具体的取組6つめへ	P59	具体的 取組の例 1つめ	○支援が必要な人と支援ができる人の把握と、支え合い見守る体制の仕組みづくり ※第2期具体的取組2つめより
具体的 取組の例 2つめ	○支援が必要な人と支援ができる人の把握と見守り・支え合い体制の仕組みづくり ※第3期具体的取組1つめへ	P59	具体的 取組の例 2つめ	○緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性を共有し、その取り扱い方法と活用方法の確立 ※第2期具体的取組3つめより
具体的 取組の例 3つめ	○緊急時や災害時に備えた住民情報収集の必要性の <u>確認及び</u> 、取り扱い方法、活用方法の確立 ※第3期具体的取組2つめへ	P59	具体的 取組の例 3つめ	○高齢者のニーズ(除雪・買い物・通院等)への支援体制づくり ※第2期具体的取組7つめより
具体的 取組の例 4つめ	○自主防災組織の機能の点検と体制整備 ※第3期具体的取組5つめへ	P59	具体的 取組の例 4つめ	○見守り隊の機能と体制の点検整備、青色パトロール隊活動の支援 ※第2期具体的取組6つめより
具体的 取組の例 5つめ	○消防団活動協力員の加入促進と機能別消防団員の確保 ※第3期具体的取組8つめへ	P59	具体的 取組の例 5つめ	○自主防災組織機能の点検と体制整備 ※第2期具体的取組4つめより
具体的 取組の例 6つめ	○見守り隊の機能の点検と体制整備、青色パトロール隊活動の支援 ※第3期具体的取組4つめへ	P59	具体的 取組の例 6つめ	○防災意識の高揚を図るための定期的な防災訓練や防災座談会の開催 ※第2期具体的取組1つめより
具体的 取組の例 7つめ	○ <u>高齢者世帯の増加を見込み</u> 、高齢者のニーズ(除雪・買い物・通院等)への支援体制づくり ※第3期具体的取組3つめへ	P59	具体的 取組の例 7つめ	○ <u>デジタル技術を活用した災害情報の共有と安否確認</u> ※新規
具体的 取組の例 8つめ	○ <u>毎月1日に交通安全・防犯の小旗を掲揚し、地域ぐるみで交通事故防止・犯罪防止に努める</u> ※第3期具体的取組9つめへ	P59	具体的 取組の例 8つめ	○消防団活動への協力と支援 ※第2期具体的取組5つめより
具体的 取組の例 9つめ	○ <u>空き家の実態把握、所有者に対する適正管理の指導</u> ※削除	P60	具体的 取組の例 9つめ	○ <u>地域ぐるみで、交通安全・防犯の小旗を毎月1日に掲揚し、交通事故防止と犯罪防止意識を高める</u> ※第2期具体的取組8つめより
具体的 取組の例 10つめ	○ <u>空き家等に関する転出時の単位自治組織での取り決めの検討</u> ※削除	P60	具体的 取組の例 10つめ	○ <u>地域共生社会の実現に向けた「地域支え合いプラン」の推進</u> ※第2期具体的取組11つめより
具体的 取組の例 11つめ	○ <u>地域共生社会の実現に向けた「地域支え合いプラン」の推進</u> ※第3期具体的取組10つめへ			

鶴岡市地域コミュニティ推進計画 新旧対照表

★修正箇所の下線が引いてあります。

第2期計画		第3期計画(素案)			
4 地域課題と取組 (2)朝日地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2)朝日地域		
キャッチ フレーズ	～地域の活力を掘り起し、住み続けられる地域を創り出す～	P60	キャッチ フレーズ	～人と人とのつながりを深め、未来へ続く活力ある地域づくり～	
リード文	朝日地域では、旧朝日村時代から、小規模な組織形成ながら、<u>単位自治組織により地域コミュニティ活動を展開してきましたが、人口減少や高齢化の急速な進展により、単位自治組織を維持することが困難になってきている組織が増えてきています。</u> このような現状の中で、平成26年度より、特に必要性が高まる地域住民の安全・安心な暮らしの確保をはじめとした地域課題の解決に向け、3つの旧地区公民館単位に<u>広域コミュニティ組織が設立され、生涯学習活動を始め、単位自治組織への機能補完や事業へのサポート等、両組織が一層連携・協力して取組む体制が構築されました。</u> <u>しかし、各組織が連携・協力する体制は徐々に出来ては来ているものの、広域コミュニティ組織に求められる支援が年々増えてきている状況から、限られた人材で、単位自治組織等を支援するにも限りがあります。これからは、単位自治組織と広域コミュニティの役割の住みわけについて考えていくことが必要になっていきます。</u> さらに、住民自ら、<u>自然に恵まれた朝日地域の特性や資源を活かした魅力的な事業実施に工夫を凝らし、地域の活力を掘り起こすとともに、地域の次代の担い手を育成するなど、安心して住み続けられる地域づくりに取り組めます。</u>	P60	リード文	朝日地域では、旧朝日村時代から、小規模な組織ながら<u>単位自治組織を中心とした地域コミュニティ活動を展開してきました。しかし、人口減少や高齢化の進行により、役員のなり手不足や事業運営の継続が困難となる単位自治組織が増えてきています。</u> このような状況を受け、平成26年度からは、特に必要性が高まっている住民の安全・安心な暮らしの確保をはじめとした課題解決に向け、3つの旧地区公民館単位に<u>広域コミュニティ組織が設立されました。以降、生涯学習活動や世代間交流をはじめ、単位自治組織への機能補完や事業支援等、両組織が一層連携・協力して取り組む体制が整えられてきました。</u> <u>今後は、持続可能な地域コミュニティ活動を確立するため、単位自治組織と広域コミュニティ組織が役割分担を工夫しながら、若い世代の参画や住民同士のつながりを深める取組を進めるとともに、地域内外の多様な団体等と連携し、防災や福祉などの分野でも支え合える環境を築いていくことが重要です。</u> さらに、住民の<u>アイデアを取り入れながら、朝日地域の特性や恵まれた地域資源を活かした魅力的な事業を企画・実施していきます。あわせて、組織や世代を越えた協働を重ねることで地域の活力を高め、誰もが安心して暮らせる朝日地域、未来へとつながる持続可能で元気な地域づくりに取り組めます。</u>	

4 地域課題と取組 (2)朝日地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2)朝日地域	
単位自治組織に係る課題と取組			単位自治組織に係る課題と取組	
①将来を見据えた持続可能な組織づくり			①将来を見据えた持続可能な組織づくり	
リード 文	会員の高齢化が進んでおり、会員数が急激に減少する傾向にあります。また、役員の職務が負担となり、なり手不足も深刻です。住民の単位自治組織に対する理解を深めながら、職務の軽減と今までの意識の転換が必要です。	P61	リード 文	会員の高齢化が進み、会員数が急激に減少する傾向にあります。また、役員の職務が負担となり、なり手不足も深刻です。住民に単位自治組織への理解を深めてもらうとともに、役員の職務内容の見直しや負担軽減を図り、持続可能な運営体制を構築することが必要です。
具体的 取組の例 2つめ	○広域コミュニティ組織と連携・協力しながら、自治会組織役員の負担軽減を実現する	P61	具体的 取組の例 2つめ	○単位自治組織内の組織見直しを進め、役員の負担軽減を実現する
具体的 取組の例 3つめ	○単位自治会を超えた複数自治会での活動を模索する	P61	具体的 取組の例 3つめ	○会員が少ない単位自治組織は活動が難しいため、単位自治会を超えた複数の自治会での連携を模索する
具体的 取組の例 4つめ	○SNSなどを活用し、新しい情報発信のあり方を検討していく	P61	具体的 取組の例 4つめ	○SNS等を活用し、新しい情報発信のあり方を検討していく
②住民による魅力的な事業づくり			②住民による魅力的な事業づくり	
リード 文	事業運営の担い手の減少や事業参加者の高齢化により、単位自治組織事業の継続が年々難しくなっています。既存事業内容の見直しを行い、複数世代が運営を担うような魅力的な事業を考えていくことが必要です。	P61	リード 文	事業運営の担い手の減少や事業参加者の高齢化により、単位自治組織事業の継続が年々難しくなっています。既存の事業内容を見直すとともに、世代間交流を促進し、住民が運営に積極的に関わるような魅力的な事業を企画・実施していくことが必要です。
具体的 取組の例 2つめ	○単位自治会を超えた複数自治会での参加しやすい事業を開催する ※削除	P61	具体的 取組の例 2つめ	○生涯学習活動において、広域コミュニティ組織・地区公民館連絡協議会と連携した事業、単位自治組織でできる事業のすみ分けを考えていく ※第2期具体的取組②3つめより
具体的 取組の例 3つめ	○生涯学習活動において、広域コミュニティ組織・地区公民館連絡協議会と連携した事業、単位自治会のできる事業のすみ分けを考えていく ※第3期具体的取組②2つめへ	P61	具体的 取組の例 3つめ	○単位自治組織と地域子供会等との連携により世代間交流を進めていく ※新規
③安全安心な地域づくりのための組織づくり			③安全安心な地域づくりに向けた協働と活動の充実	
リード 文	少子高齢化に伴い、高齢者一人暮らし世帯が増加しており、単位自治組織の運営に支障をきたしているのは勿論のことですが、緊急時・災害時の高齢者支援等、単位自治組織に求められる負担が増加しています。地域内における安全安心な地域づくりのための活動や組織づくりが必要です。	P61	リード 文	地域の安全・安心を守るためには、防災や福祉、見守りなどの分野で地域内外の多様な主体が協力し合うことが大切です。平常時からの連携や情報共有を積み重ねることで、有事の際にも住民同士が支え合える体制を整え、協働による持続可能な地域づくりを進めることが必要です。

4 地域課題と取組 (2)朝日地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2)朝日地域	
④単位自治組織の財産管理や環境整備事業の見直し			④単位自治組織の財産管理や環境整備事業の見直し	
リード 文	単位自治組織の所有する公民館等の建物が老朽化し、維持費の増大や改築の問題等を抱えています。また、住民の減少や高齢化により、農林道や水路、共有地での草刈り等の共同作業の負担が増大しています。 このため、財産管理のあり方 <u>の検討</u> や持続可能な環境整備体制の <u>見直し</u> が必要です。	P62	リード 文	単位自治組織が所有する公民館等の建物は老朽化が進み、維持費の増加や改築費用等の問題を抱えています。さらに、住民の減少や高齢化により、農林道や水路、共有地の草刈り等、共同作業の負担も増大しています。 このため、財産管理のあり方を見直すとともに、持続可能な環境整備体制の構築が必要です。
具体的 取組の例 2つめ	○隣接する自治会との共同作業の検討	P62	具体的 取組の例 2つめ	○共同作業のやり方等の見直しを検討
具体的 取組の例 3つめ	○土地や建物の財産管理の共同作業の見直し	P62	具体的 取組の例 3つめ	○土地や建物の財産管理の仕方を検討
⑤希薄化した連帯感の再構築			⑤希薄化した連帯感の再構築	
リード 文	若者の減少や勤務形態の多様化などから若者の交流の機会が少なくなり、地域が創り上げてきた連帯感が薄れてきています。また、これまで単位自治組織を支えてきた会員が高齢となり、積極的に組織を運営していくことが困難となってきました。このため、連帯感の再構築に向けた取組が必要です。	P62	リード 文	若者の減少や勤務形態の多様化により、地域内での若者の交流機会が減少し、これまで地域が築いてきた連帯感が薄れつつあります。また、これまで単位自治組織を支えてきた会員の高齢化が進み、積極的な組織運営が困難になってきています。地域の連帯感を再構築するためには、単位自治組織と広域コミュニティ組織が連携し、世代や立場を越えたつながりを生み出す取組が必要です。
広域コミュニティ組織に係る課題と取組			広域コミュニティ組織に係る課題と取組	
①住民理解の促進と単位自治組織への支援			①住民理解の促進と単位自治組織への支援	
リード 文	広域コミュニティ組織への理解も徐々に進んでいますが、まだ十分とは言えません。また、単位自治組織の機能維持が難しくなっており、単位自治組織が実施する事業等への広域コミュニティ組織によるサポートの必要性は増えていくことが見込まれます。このため、子どもの頃からの広域コミュニティ組織への理解を深める取組が重要です。	P62	リード 文	単位自治組織の機能維持が難しくなっている中で、単位自治組織が実施する事業等に対する広域コミュニティ組織のサポートの重要性は、今後さらに高まっていくと見込まれます。広域コミュニティ組織への理解を一層深めるためにも、情報発信力を強化するとともに、地域の将来を見据え、子どもの頃から地域資源に触れる機会を育む取組が必要です。
具体的 取組の例 1つめ	○広域コミュニティ組織の活動意義と活動内容等を広報紙のほか、ホームページやSNSを併用して発信	P62	具体的 取組の例 1つめ	○広域コミュニティ組織の活動意義や活動内容等の、広報紙やホームページ、SNSによる分かりやすい情報発信
具体的 取組の例 3つめ	○子どもの頃から地域固有の自然や歴史、文化、伝統、産業などへの理解を促すような機会づくり	P62	具体的 取組の例 3つめ	○子どもの頃から地域固有の自然や歴史、文化、伝統、産業等に触れる機会づくり

4 地域課題と取組 (2)朝日地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2)朝日地域	
②人材の確保に向けた検討			②活動の担い手となる人材の確保と育成	
リード 文	朝日南部地区や朝日東部地区は公民館連絡協議会等を継承して設立されたため、運営方法が確立されていますが、朝日中央地区は、5つの公民館連絡協議会等で形成され、それぞれの運営形態が異なっており、広域組織の運営方法がまだ十分に確立されていないことから、地区にふさわしい運営方法の検討が必要です。	P63	リード 文	地域の将来を支えるためには、多様な人材が地域活動に主体的に参画し、互いに学び合い成長できる環境を整えることが大切です。世代や立場を超えた交流や意見交換を通じてつながりを深め、知識や経験を活かしながら新たな担い手を育てる仕組みを築く必要があります。
具体的 取組の例 1つめ	○人と人とのつながりができるような事業や研修会の実施	P63	具体的 取組の例 1つめ	○研修や交流事業を通じた人と人とのつながりの拡大、企画運営や特技を活かす人材の発掘・育成
具体的 取組の例 2つめ	○地元講師の発掘と、講師を活かした事業の実施	P63	具体的 取組の例 2つめ	○地元講師の発掘、地域内外からの多様な人材の呼び込み、知識や経験を活かした事業展開
具体的 取組の例 3つめ	○若い世代の声を地域に活かすため、性別や年代を超えた語り合える場を作る	P63	具体的 取組の例 3つめ	○若い世代の声を活かす年代や性別を超えた語り合いの場、意見共有の場づくり
具体的 取組の例 4つめ	○生涯学習推進員を巻き込み、単位自治組織と広域コミュニティ組織の連携を強める事業を実施する ※削除	P63	具体的 取組の例 4つめ	○意欲ある生涯学習推進員の掘り起こしと研修の充実
具体的 取組の例 5つめ	○意欲ある生涯学習推進員の掘り起こしを進め、研修の充実を図る			
③希薄化した連帯感の再構築			③希薄化した連帯感の再構築	
リード 文	若者の減少や、勤務形態の多様化などから広域コミュニティ組織に積極的に関わる人材に限られています。このため、新たな人材の確保に向けた場づくりを進め、幅広い世代からの人材の確保を考えていく必要があります。	P63	リード 文	若者の減少や勤務形態の多様化により、広域コミュニティ組織に積極的に関わる人材に限られています。そのため、新たな人材を確保する場づくりを進めるとともに、地域と学校が連携して将来を担う人材を育成し、幅広い世代の参画を促す取組を通じて、地域の活性化を図る必要があります。
具体的 取組の例 1つめ	○朝日地域自治振興会連絡協議会(広域コミュニティ組織の連合組織)が主体となって事業を実施できるような仕組みづくり	P63	具体的 取組の例 1つめ	○朝日地域自治振興会連絡協議会(広域コミュニティ組織の連合組織)が主体となって事業を実施する仕組みづくり

4 地域課題と取組 (2)朝日地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2)朝日地域	
具体的 取組の例 2つめ	○子どもから高齢者まで世代を超えて集える場づくり	P63	具体的 取組の例 2つめ	○子どもから高齢者まで幅広い世代が交流できる場の設置、世代を超えた地域のつながりの再構築
④安全安心な地域づくりのための組織づくり			④安全安心な地域づくりに向けた協働と活動の充実	
リード 文	少子高齢化に伴い、高齢者一人暮らし世帯も増加しており、自主防災活動や消防団活動にも支障をきたすようになっていきます。単位自治組織や行政との情報共有を進め、連携して災害時に対応できるような取組を検討していくことが必要です。 他団体との協力による高齢者の見守り活動についてはさらに充実させていくことも求められています。	P63	リード 文	少子高齢化により高齢者の一人暮らし世帯が増える中、単位自治組織や関係団体との情報共有や連携を強化し、災害時に円滑に対応できる体制を整えることが必要です。また、除雪や買い物、通院などの生活支援に加え、多様化するニーズに対応する仕組みを構築し、幅広い世代が参画しやすい地域づくりに取り組むことが求められています。
具体的 取組の例 1つめ	○単位自治組織と情報を共有する仕組みづくり	P63	具体的 取組の例 1つめ	○単位自治組織と広域コミュニティ組織との情報共有の仕組みづくり、多様化する地域課題への連携対
具体的 取組の例 2つめ	○自主防災会と連携を強化し、災害の避難訓練や研修会の実施	P63	具体的 取組の例 2つめ	○自主防災会との連携強化、災害時を想定した避難訓練や防災に関する研修会の実施
具体的 取組の例 3つめ	○空き家の実態把握と適正管理の指導や助言	p63	具体的 取組の例 3つめ	○空き家の実態把握、不良空き家化防止の啓発活動、適正管理に向けた指導・助言
具体的 取組の例 4つめ	○社会福祉協議会等他団体との協力による高齢者や支援が必要な人に対する見守り活動等の支援	P64	具体的 取組の例 4つめ	○高齢者や支援が必要な人への社会福祉協議会等との連携による見守り等の支援、生活ニーズに応じた仕組みづくりの検討

鶴岡市地域コミュニティ推進計画 新旧対照表

★修正箇所には下線が引いてあります。

第2期計画		第3期計画(素案)	
4 地域課題と取組 (2) 温海地域		掲載 ページ	5 地域課題と取組 (2) 温海地域
リード文	温海地域では、地形的な要因から集落間の距離が離れているため、集落ごとの住民の強い自治意識のもと、単位自治組織の運営を行い、海、山、川、温泉等の恵まれた自然環境の中で、伝統芸能等独自の地域文化を大切にしながら様々な住民自治活動が行われてきました。 しかし、近年の社会情勢の変化、特に人口減少、少子高齢化が進み、自治組織の維持において、人材不足や財政難等の課題に直面しており、運営自体が困難な組織が多くなってきています。 そこで本地域では、単位自治組織の健全な運営を図るために、組織のあり方や経費負担の軽減等の検討に取組みます。あわせて、平成26年度に旧地区公民館単位の4つの地区に設立された地区自治会において、地域内での位置付けや活動内容、活動拠点施設の課題等を整理するとともに、連携・協力体制の確保に向けた適正な区割りも踏まえた、広域コミュニティの形成の検討等に取り組めます。 さらに、温海固有の歴史や自然を活かした地域の魅力づくりを進めるとともに、防犯・防災分野への適切な対応と、高齢者が活躍する場の創出や、次代を担う若者や子どもたちが地域に深く関わる事業等を通じて、住民同士が支え合い安全で安心して住み続けられる地域づくりに取組みます。	P65	リード文 温海地域では、地形的な要因から集落間の距離が離れているため、集落ごとの住民の強い自治意識のもと単位自治組織の運営を行い、海、山、川、温泉等の恵まれた自然環境の中で、伝統芸能等独自の地域文化を大切にしながら様々な住民自治活動が行われてきました。 近年の社会情勢の変化、特に人口減少、少子高齢化が進み、単位自治組織の維持において、人材不足や財政難等の課題に直面しており、運営自体が困難な組織が多くなってきています。<u>そのため本地域では、各自治会が、役員等の負担軽減や、事業経費の見直し等により、単位自治組織の健全な運営に取り組んできました。</u> <u>今後、5年、10年後を見据えると、各自治会とも組織の維持に不安を抱いているため、旧地区公民館単位の4つの地区自治会の連携・協力体制を確保しつつ、現状維持が困難となる単位自治組織の統合をはじめ、広域コミュニティ形成のための課題等を整理するとともに検討を進めます。</u> さらに、本地域の歴史や自然を活かした地域の魅力づくりを進めるとともに、防犯・防災分野への適切な対応と、高齢者が活躍する場の創出や、次代を担う若者や子どもたちが地域に深く関わる事業等を通じて、住民同士が支え合い 安全で安心して住み続けられる地域づくりに<u>取り組めます。</u>

第2期計画		第3期計画(素案)		
単位自治組織に係る課題と取組		単位自治組織に係る課題と取組		
①健全な財政運営に向けた検討や組織の見直しによる 役員等の負担軽減				
リード 文	公民館等単位自治組織所有の施設や有線放送設備の老朽化がみられ、修繕や維持管理に要する経費負担が大きくなっており、単位自治組織の財政を圧迫しています。 さらに、会員の減少や高齢者世帯の増加等により会費収入が減少して、単位自治組織の財政運営が厳しくなっており、組織の規模に見合った事業運営に見直し、健全な財政運営を図ることが必要です。 また、住民の減少及び高齢化に伴い、役員の担い手確保が難しい状況にあり、単位自治組織の会長は本来の単位自治組織業務のほかに、市や各種団体の役職も多く担っているなど、負担が大きくなっており、役員の負担軽減を図る必要があります。		リード 文	※第2期具体的取組①②の統合により削除
具体的 取組の例 1つめ	○各種団体の統合や組織の見直しによる、単位自治組織役員の負担軽減 ※削除			
具体的 取組の例 2つめ	○住民合意に基づく会費収入に見合った事業運営の見直し ※削除			
具体的 取組の例 3つめ	○公民館類似施設運営・活動費補助金の有効活用 ※第3期具体的取組①2つめへ			
具体的 取組の例 4つめ	○有線放送設備及びICTを活用した新たな情報伝達手段の研究・検討 ※第3期具体的取組①5つめへ			
具体的 取組の例 5つめ	○組織の規模に見合った、単位自治組織の運営 ※第3期具体的取組①1つめへ			

第2期計画		第3期計画(素案)	
②将来を見据えた単位自治組織の検討(①へ)		①将来を見据えた単位自治組織の検討(②より)	
リード文	温海地域の集落形成は、地形的な要因からそれぞれの距離が離れているため、集落ごとに住民の強い自治意識のもと、単位自治組織の運営を行い、独自の地域文化を形成してきました。 単位自治組織は、現在27組織があり、世帯数は7世帯から400世帯程の規模まで幅があり、世帯数が30世帯に満たない小規模の単位自治組織も6組織あります。単位自治組織の運営面等において課題を抱えており、将来を見据えた単位自治組織の再編や周辺単位自治組織との連携を視野に入れた検討が必要であり、運営においても若者や女性等多様な人材が活躍できる機会の拡充が必要です。	P66	リード文 温海地域の集落形成は、地形的な要因からそれぞれの距離が離れているため、集落ごとに住民の強い自治意識のもと、単位自治組織の運営を行い、独自の地域文化を形成してきました。 単位自治組織は、現在27組織があり、世帯数は6世帯から380世帯程の規模まで幅があり、世帯数が30世帯に満たない小規模の単位自治組織も8組織あります。単位自治組織の運営面と財政面において課題を抱えており、将来を見据えた単位自治組織の再編や周辺単位自治組織との連携を視野に入れた検討が必要であり、運営においても若者や女性等多様な人材が活躍できる機会の拡充が必要です。
具体的取組の例1つめ	○隣接する単位自治組織との情報交換や運営に対する相互協力、共同化の検討 ※第3期具体的取組①3つめへ	P66	具体的取組の例1つめ ○組織の規模に見合った単位自治組織の運営 ※第2期具体的取組①5つめより
具体的取組の例2つめ	○単位自治組織と地区自治会との連携や機能・役割分担の検討 ※第3期具体的取組①4つめへ	P66	具体的取組の例2つめ ○公民館類似施設運営・活動費補助金の有効活用 ※第2期具体的取組①2つめ、①3つめより
具体的取組の例3つめ	○アドバイザー職員制度を活用し住民一体となった地域ビジョンの策定による具体的な方策の検討 ※削除	P66	具体的取組の例3つめ ○隣接する単位自治組織との情報交換や運営に対する相互協力、共同化の検討 ※第2期具体的取組②1つめより
具体的取組の例4つめ	○SNSの活用など新しい生活様式の導入 ※第3期具体的取組①5つめへ	P66	具体的取組の例4つめ ○単位自治組織と地区自治会との連携や機能・役割分担の検討 ※第2期具体的取組②2つめより
具体的取組の例5つめへ	○若者や女性等、多様な人材の活躍の場づくり ※第3期具体的取組①6つめへ	P66	具体的取組の例5つめへ ○新たな情報伝達としてICTの活用 ※第2期具体的取組①4つめ、②4つめより
具体的取組の例6つめ	○若い世代が活躍できる役員体制 ※第3期具体的取組①7つめへ	P66	具体的取組の例6つめ ○若者や女性等、多様な人材の活躍の場づくり ※第2期具体的取組②5つめより
		P66	具体的取組の例7つめ ○若い世代が活躍できる役員体制 ※第2期具体的取組②6つめより

第2期計画		第3期計画(素案)		
		②広域コミュニティ組織の検討(⑥より)		
		P66	リード文	少子高齢化の影響により、単位自治組織の機能維持が難しくなる中で、他地域ではこれを補完する広域コミュニティが組織化されていますが、温海地域では、平成26年度に、従来から生涯学習事業等を主として活動してきた「地区公民館(4地区)」を発展的に解消し、福祉や防災等地域課題にも取組む「地区自治会(4地区、広域的な住民自治組織)」を組織し活動しており、拠点施設は持たないものの、今後、単位自治組織との連携による機能の補完、充実が必要です。 また、地域のコミュニティ活動の実態や地区自治会活動の実態を踏まえながら、広域コミュニティ組織のあり方について検討が必要です。
		P66	具体的取組の例1つめ	○地区自治会の今後のあり方の検討 ※第2期具体的取組⑥1つめより
		P66	具体的取組の例2つめ	○広域コミュニティ組織の活動意義と活動内容等を共有する機会と場づくり ※第2期具体的取組⑥2つめより
③安全で安心して暮らせる防犯・防災対策の推進		③安全で安心して暮らせる防犯・防災対策の推進		
④次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり		④次代を担う若者や子どもたちを取り巻く環境づくり		
リード文	地域内に働く場が少ないことや地場産業の低迷、価値観の多様化等により、若者の転出傾向に歯止めがかからず、少子高齢化の大きな要因になっています。若者が地域内でも仕事や家庭、社会活動等に取組み、充実した生活が送れる環境づくりが必要です。 また、少子高齢化の波は、各地域に根づく祭り行事や伝統文化の継承にも影響を及ぼしています。 子どもたちを取り巻く環境では、地域内に5校あった小学校が、平成28年度から2校となり、学校と地域が一体となった子どもたちが地域に興味を持ってくれるような関わり方の検討が必要です。	P67	リード文	地域内に働く場が少ないことや地場産業の低迷、価値観の多様化等により、若者の転出傾向に歯止めがかからず、少子高齢化の大きな要因になっています。若者が地域内でも仕事や家庭、社会活動等に取組み、充実した生活が送れる環境づくりが必要です。 また、少子高齢化の波は、各地域に根づく祭り行事や伝統文化の継承にも影響を及ぼしています。 子どもたちを取り巻く環境では、地域内に5校あった小学校が、平成28年度から2校となり、学校と地域が一体となった子どもたちが地域に興味を持ってくれるような関わり方の検討が必要です。
具体的取組の例1つめ	○若者に魅力のある地域づくりのための活動支援やリーダーの育成 ※削除	P67	具体的取組の例1つめ	○世代間交流などによる伝統行事や伝統文化の継承への動機づけと支援 ※第2期具体的取組④2つめより
具体的取組の例2つめ	○世代間交流などによる伝統行事や伝統文化の継承への動機づけと支援 ※第3期具体的取組④1つめへ		具体的取組の例2つめ	○地域と学校の連携・協働によるコミュニティスクールと地域学校協働活動の推進 ※第2期具体的取組④3つめより
具体的取組の例3つめ	○地域と学校の連携・協働によるコミュニティスクールの導入と地域学校協働活動の推進 ※第3期具体的取組④2つめへ	P67	具体的取組の例3つめ	○地域理解を深めるための学習支援 ※第2期具体的取組④4つめより

第2期計画		第3期計画(素案)		
具体的 取組の例 4つめ	○地域理解を深めるための学習支援 ※第3期具体的取組④3つめへ	P67	具体的 取組の例 4つめ	○子どもや若者が地域の一員であることを認識できる場づくり ※新規
⑤高齢者等福祉の視点に立ったコミュニティづくり		⑤高齢者等福祉の視点に立ったコミュニティづくり		
リード 文	温海地域は、令和2年3月末現在での高齢化率は46%で、中でも特徴的なこととして、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が他地域に比べてかなり高い割合(令和2年3月末現在で33.8%)となっており、今後ますます増えることが予測されています。また、高齢者は増え続ける一方、老人クラブが解散するなど、今後、地域内で高齢者のつながりの希薄化が一層懸念されています。 高齢者が活躍する場の創出や、住民同士が支え合う地域コミュニティづくりに取り組む必要があります。	P68	リード 文	温海地域は、令和7年3月末現在での高齢化率は51.2%で、中でも特徴的なこととして、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が他地域に比べてかなり高い割合(令和7年3月末現在で36.1%)となっており、今後ますます増えることが予測されています。一方、老人クラブが解散するなど、今後、地域内で高齢者のつながりの希薄化が一層懸念されています。 高齢者が活躍する場の創出や、住民同士が支え合う地域コミュニティづくりに取り組む必要があります。
具体的 取組の例 4つめ	○高齢者が活躍し、生きがいを持ち住み続けられる地域コミュニティづくり	68P	具体的 取組の例 4つめ	○高齢者が活躍し、生きがいを持ち住み続けられる地域コミュニティづくり ※第2期具体的取組⑤4つめ、⑤5つめより統合
具体的 取組の例 5つめ	○高齢者でも可能な健康づくり ※第3期具体的取組⑤4つめへ	P68	具体的 取組の例 5つめ	○地域共生社会の実現に向けた「地域支え合いプラン」の推進 ※第2期具体的取組⑤6つめより
具体的 取組の例 6つめ	○地域共生社会の実現に向けた「地域支え合いプラン」の推進 ※第3期具体的取組⑤5つめへ			
⑥広域コミュニティ組織の検討(②へ移動)				
リード 文	少子高齢化の影響により、単位自治組織の機能維持が難しくなる中で、他地域ではこれを補完する広域コミュニティが組織化されていますが、温海地域では、平成26年度に、従来から生涯学習事業等を主として活動してきた「地区公民館(4地区)」を発展的に解消し、福祉や防災等地域課題にも取組む「地区自治会(4地区、広域的な住民自治組織)」を組織し活動しており、拠点施設は持たないものの、今後、単位自治組織との連携による機能の補完、充実が必要です。 また、地域のコミュニティ活動の実態や地区自治会活動の実態を踏まえながら、広域コミュニティ組織のあり方について検討が必要です。		リード 文	
具体的 取組の例 1つめ	○地区自治会の今後のあり方の検討 ※第3期具体的取組②1つめへ			
具体的 取組の例 2つめ	○広域コミュニティ組織の活動意義と活動内容等を共有する機会と場づくり ※第3期具体的取組②2つめへ			

鶴岡市地域コミュニティ推進計画 新旧対照表

★修正箇所には下線が引いてあります。

第2期計画		第3期計画(素案)	
5 市の地域コミュニティ施策		掲載 ページ	6 市の地域コミュニティ施策
リード文	地域コミュニティ活動は、市民生活全般に関わるものであり、行政は組織を挙げて関連施策の推進に <u>取り組む</u> 必要があります。 事業の実施にあたっては、住民自治組織にとって過重な負担とならないよう、また地域特性を尊重した内容とするため、関係者の考えを聴きながら <u>取り組む</u> こととします。 併せて、人口減少問題に対応する目標や施策の基本的方向性等をまとめた「 <u>第2期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月策定)</u> 」との整合を図りながら、施策を進めます。	P69	リード文 地域コミュニティ活動は、市民生活全般に関わるものであり、行政は組織を挙げて関連施策の推進に <u>取り組む</u> 必要があります。事業の実施にあたっては、住民自治組織にとって過重な負担とならないよう、また地域特性を尊重した内容とするため、関係者の考えを聴きながら <u>取り組む</u> こととします。 <u>あわせて、人口減少対策やデジタルの力を活用して推進する地方創生の取り組み</u> をまとめた「 <u>鶴岡市デジタル田園都市構想総合戦略(令和6年3月策定)</u> 」との整合を図りながら、施策を進めます。
①住民主体による地域課題解決を多面的に支援		①住民主体による地域課題解決を多面的に支援	
リード文	住民自治組織の課題解決に向け、住民主体の <u>取組</u> を支援します。 <u>このほか、時代の変化や多様化するニーズに住民自治組織が適応できるように、事業企画・運営等の取組</u> を支援します。	P70	リード文 住民自治組織の主体的な活動や地域課題解決に向けた <u>取組</u> みを支援します。 <u>また、住民自治組織がライフスタイルの変化やデジタル技術の進展等、時代の変化に対応した活動が</u> できるように、事業の企画、運営等の <u>取組</u> みを支援します。
具体的取組の例1つめ	○住民自治組織総合交付金や広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金を交付し、地域が主体的に行う生涯学習や福祉、防災、生活環境整備等の総合的な <u>地域活動のほか、地域の特色を活かした地域づくりや地域課題の解決に向けた取組等</u> を支援します。	P70	具体的取組の例1つめ ○住民自治組織総合交付金や広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金を交付し、地域が主体的に行う地域づくりや地域課題の解決に向けた <u>取組</u> み等を支援します。
具体的取組の例2つめ	○地域ビジョンの策定を通して、多くの地域住民が関わりながら地域の課題や価値、目指すべき姿、方向性を共有するプロセスを経ることで、我が事としての地域づくりが進められるように支援します。あわせて人材育成が図られるように支援します。	P70	具体的取組の例2つめ ○地域ビジョンの策定を通して、多くの地域住民が関わりながら地域の課題や価値、目指すべき姿、方向性を共有するプロセスを経ることで、我が事としての地域づくりが進められるように支援します。あわせて <u>地域づくりに関わる</u> 人材育成が図られるように支援します。
具体的取組の例3つめ	○地域が行うワークショップやアンケート等の <u>取組</u> を支援し、多くの地域住民が地域の現状や課題に気づき、共有する場づくりを推進します。	P70	具体的取組の例3つめ ○地域が行うワークショップやアンケート等の <u>取組</u> みを支援し、多くの地域住民が地域の現状や課題に気づき、共有する場づくりを推進します。
具体的取組の例4つめ	○地域まちづくり未来事業や市民まちづくり活動促進事業、アドバイザー職員制度、ワークショップ開催支援等を通して、地域の自発性と自主性を尊重し、活動を支援します。	P70	具体的取組の例4つめ ○地域まちづくり未来事業や市民まちづくり活動促進事業、アドバイザー職員制度、ワークショップ開催支援等を通して、地域の自発性と自主性を尊重し、 <u>自立した活動に取り組めるように</u> 支援します。
具体的取組の例5つめ	○地域資源を活かしたコミュニティビジネスの <u>取組</u> について、先進事例や各種補助金等の情報提供により支援するとともに、その地域 <u>定着・発展</u> を支えます。	P70	具体的取組の例5つめ ○地域資源を活かしたコミュニティビジネスの <u>取組</u> みについて、先進事例や各種補助金等の情報提供により支援するとともに、その地域 <u>の魅力向上と発展</u> を支えます。

5 市の地域コミュニティ施策		掲載 ページ	6 市の地域コミュニティ施策	
具体的 取組の例 6つめ	○住民自治組織の課題をタイムリーに把握し、事例集作成や事例発表研修会の開催など優れた取組の共有や学び合う場をつくります。	P70	具体的 取組の例 6つめ	○住民自治組織の課題をタイムリーに把握し、事例集作成や事例発表研修会の開催等優れた取組みの共有や学び合う場をつくります。
具体的 取組の例 7つめ	○住民自治組織における活動状況等の発信や日頃の地域活動に、ホームページやSNS等の積極的な活用を促進し、新しい生活様式の導入につながるよう取組を支援します。	P70	具体的 取組の例 7つめ	○幅広い世代が地域活動に参画できるよう、住民自治組織が日頃の活動でSNSやホームページなどデジタルツールを活用できるよう支援します。
具体的 取組の例 8つめ	○全世代・全員活躍型のコミュニティを目指し、趣味や特技も地域で活用できる資源ととらえ、課題解決や地域の魅力づくりに結びつけることができるよう支援します。	P70	具体的 取組の例 8つめ	○全世代が活躍できるコミュニティを目指し、趣味や特技も地域で活用できる資源ととらえ、課題解決や地域の魅力づくりに結びつけることができるよう支援します。
②コミュニティ意識の醸成と担い手の育成促進			②コミュニティ意識の醸成と担い手の育成促進	
リード 文	住民自治組織における活動の担い手の発掘及び育成につなげるため、現在の活動内容を見直し、新たな担い手が参加しやすい活動形態や募り方を検討できるよう支援します。 あわせて、子どもの成長を軸としてコミュニティへの理解を深めるとともに、郷土愛を育む地域づくりを支援します。	P70	リード 文	住民自治組織における担い手の発掘や育成のため、活動内容を見直し、新たな担い手が参加しやすい活動形態や募り方を検討できるように支援します。 あわせて、多様な交流や体験等を通じて、子どもたちがコミュニティの大切さを学び、郷土愛を育む地域づくりを支援します。
具体的 取組の例 1つめ	○各住民自治組織において、子どもから高齢者まで参加できる交流型事業の実施や、子ども会や中高生、大学生、若い世代等による事業の企画運営、連携事業の展開など、一過性に終わらない関わり方を推進します。	P70	具体的 取組の例 1つめ	○各住民自治組織において、子どもから高齢者まで参加できる交流型事業の実施や、子ども会や中高生、大学生、若い世代等による事業の企画運営、連携事業の展開等、持続可能な関わり方を推進します。
具体的 取組の例 3つめ	○得意分野を活かした役割分担など、子育て中の方や女性、現役世代など誰でも参加しやすい地域活動を推進し、活躍の場の拡大を図ります。	P70	具体的 取組の例 3つめ	○多様化する働き方やライフスタイルに対応しつつ、様々な就労形態を生かした地域参加へのあり方について情報発信を進め、活躍の場の拡大を図ります。
具体的 取組の例 4つめ	○様々な地域活動において、世代間交流や青少年対象の事業を実施するなどしてつながりを創出し、地域の魅力や地域コミュニティの大切さを次代に伝える取組を支援します。	P71	具体的 取組の例 4つめ	○様々な地域活動において、世代間交流や青少年対象の事業を実施するなどしてつながりを創出し、地域の魅力や地域コミュニティの大切さを次代に伝える取組みを支援します。
具体的 取組の例 6つめ	○幅広い地域住民の参画によるコミュニティスクールの導入及び地域学校協働本部の立ち上げを支援し、地域と学校が連携・協働して子どもたちの学びや成長を支えることにより、子どもたちの規範意識や社会性の向上を推進するとともに、地域の教育力向上と活性化を図ります。	P71	具体的 取組の例 6つめ	○幅広い地域住民の参画によるコミュニティスクールと鶴岡型小中一貫教育との協働を推進、地域学校協働本部の立ち上げの支援を行い、地域と学校が連携・協働して子どもたちの学びや成長を支えることにより、子どもたちの規範意識や社会性の向上を推進するとともに、地域の教育力向上と活性化を図ります。

5 市の地域コミュニティ施策		掲載 ページ	6 市の地域コミュニティ施策	
具体的 取組の例 7つめ	○婚活における地域組織との連携や、ボランティア仲人「つるおか婚シェルジュ」の活動等を通じ、地域社会全体で結婚を後押しする環境の醸成に努めます。	P71	具体的 取組の例 7つめ	○新婚世帯の経済的負担を軽減するとともに、婚活における地域組織との連携や、ボランティア仲人「つるおか婚シェルジュ」の活動等を通じ、地域社会全体で結婚を後押しする環境の醸成に努めます。
具体的 取組の例 8つめ	○転入者等に対して住民自治組織への加入の呼びかけを行うなど、会員確保に向けた取組を推進します。	P71	具体的 取組の例 8つめ	○転入者等に対して市ホームページや市広報等を通じて住民自治組織への加入の呼びかけを行う等、会員確保に向けた取組を推進します。
		P71	具体的 取組の例 9つめ	○新たな担い手の発掘及び育成につなげるため、住民自治組織のデジタル化に向けた支援を行います。 ※新規
③広域コミュニティ機能の強化			③広域コミュニティ機能の強化	
リード 文	概ね小学校区等を単位とした広域コミュニティ組織が、地域の中核的な担い手として、 <u>単位自治組織の機能を補完するとともに</u> 、地域づくりや地域課題解決等の創造的な活動が展開できるよう支援します。 特に、 <u>広域コミュニティ組織を母体とした地域運営組織の運営強化</u> に向け、 <u>地域の取組を総合的に支援</u> します。	P71	リード 文	概ね小学校区等を単位とした広域コミュニティ組織が、地域の中核的な担い手として、地域づくりや地域課題解決等の創造的な活動が展開できるよう支援します。 また、 <u>単位自治組織は人口減少、高齢化の影響により今後さらに組織運営が難しくなる中で、機能補完や役割分担の検討ができるよう</u> 、支援します。
具体的 取組の例 2つめ	○コミセンの貸館業務の <u>省力化を図るなど</u> 職員の負担を軽減し、地域づくり活動等へ <u>注力できる体制を整えます</u> 。	P71	具体的 取組の例 2つめ	○コミセンの貸館業務の <u>デジタル化により</u> 職員の負担を軽減し、地域づくり活動等へ <u>取り組みやすい体制を整えます</u> 。
具体的 取組の例 3つめ	○広域コミュニティ組織と単位自治組織が地域内連携を図り、住民理解を深めながら機能補完や役割分担の検討を行えるように、事例紹介や研修会の開催など必要な支援を行います。	P71	具体的 取組の例 3つめ	○広域コミュニティ組織と単位自治組織が地域内連携を図り、住民理解を深めながら機能補完や役割分担の検討を行えるように、事例紹介や研修会の開催等必要な支援を行います。
具体的 取組の例 5つめ	○福祉、防災、地域づくり活動等の地域の総合的な拠点施設となるコミュニティセンター等について、地域住民の <u>積極的な活動の場</u> となるように必要な整備を行います。	P71	具体的 取組の例 5つめ	○福祉、防災、地域づくり活動等の地域の総合的な拠点施設となるコミュニティセンター等について、地域住民の <u>主体的な活動の場</u> となるように必要な整備を行います。
具体的 取組の例 6つめ	○ <u>檜引、温海地域においては、単位組織間の情報共有や連携体制を整え、広域コミュニティ組織の活動意義を共有する場を提供</u> します。	P71	具体的 取組の例 6つめ	○ <u>檜引地域においては、単位自治組織間の情報共有や連携体制と広域コミュニティの研究を支援</u> します ※第2期具体的取組6つめより分割
		P71	具体的 取組の例 6つめ	○ <u>温海地域においては、これまでの自治公民館体制をベースとして、単位自治組織の統合と広域コミュニティ組織化へ向けた体制づくりの支援</u> を行います。 ※第2期具体的取組6つめより分割

5 市の地域コミュニティ施策		掲載 ページ	6 市の地域コミュニティ施策	
④小規模な単位自治組織への支援			④小規模な単位自治組織への支援	
リード 文	人口減少、高齢化の影響により、今後さらに組織の運営や維持が難しくなる小規模な単位自治組織の維持、負担軽減に向けた支援を行います。	P72	リード 文	人口減少、高齢化の影響により、今後さらに組織の運営や維持が難しくなる小規模な単位自治組織の運営を支援します。
具体的 取組の例 2つめ	○単位自治組織が組織体制や事業のあり方を検討するにあたり、住民理解を深める話し合いの場づくりや事例紹介、相談対応などの支援を行います。このほか、必要に応じて、近隣の単位自治組織との連携・統合等に関する事例紹介や、広域コミュニティ組織との機能補完や役割分担の事例紹介等も行います。	P72	具体的 取組の例 2つめ	○単位自治組織が組織体制や事業のあり方を検討するにあたり、住民理解を深める話し合いの場づくりや事例紹介、相談対応等の支援を行います。 ※第2期具体的取組2つめより分割
		P72	具体的 取組の例 3つめ	○近隣の単位自治組織との連携・統合等に関する相談や事例紹介、広域コミュニティ組織との機能補完や役割分担の事例紹介等の支援を行います。 ※第2期具体的取組2つめより分割
⑤安全・安心な暮らしの確保に向けた地域体制づくり			⑤安全・安心な暮らしの確保に向けた地域体制づくり	
リード 文	防災・福祉・まちづくりなど地域課題が多様化する状況において、地域の安全・安心な暮らしの確保には、地域における顔のわかる関係や絆づくりが重要であるとともに、地域の見守り、支え合い活動が欠かせないものとなっています。それらの活動が円滑に進むよう、関係団体等と連携・協力して課題解決に取り組めます。	P72	リード 文	防災・福祉・まちづくり等地域課題が多様化する状況において、地域の安全・安心な暮らしの確保には、普段からの近所付き合いが重要であるとともに、地域の見守り、支え合い活動が欠かせないものとなっています。それらの活動が円滑に進むよう、関係団体等と連携・協力して課題解決に取り組めます。
具体的 取組の例 2つめ	○住民自治組織が、社会福祉協議会をはじめとする関係団体、民生委員・児童委員等との連携を密にし、地域での見守り活動や支え合い活動の取組が図られるよう支援します。	P72	具体的 取組の例 2つめ	○住民自治組織が、社会福祉協議会をはじめとする関係団体、民生委員・児童委員等との連携を密にし、地域での見守り活動や支え合い活動の取組みが図られるよう支援します。
具体的 取組の例 4つめ	○学童期のすべての児童が放課後等を安全・安心に過ごせるよう、地域住民の参画のもと、多様な体験や活動等を行う居場所づくりや見守り活動など、総合的な放課後対策を図ります。	P72	具体的 取組の例 4つめ	○学童期の全児童が放課後等に安全・安心に過ごせるよう、地域住民が参画して多様な体験や活動ができる居場所として放課後子ども教室・放課後児童クラブを整備し、見守り活動等を通じた総合的な放課後対策を推進します。
具体的 取組の例 5つめ	○子どもを犯罪や事故から守るため、保護者や地域団体との連携・協力のもと、登下校時の見守り活動等の取組を推進します。	P72	具体的 取組の例 5つめ	○子どもを犯罪や事故から守るため、保護者や地域団体との連携・協力のもと、登下校時の見守り活動等の取組を推進します。
具体的 取組の例 6つめ	○地区防災計画や避難行動要支援者支援計画に基づき、要支援者一人ひとりの個別支援計画の整備を推進し、町内会や自治会、自主防災組織をはじめ、地域の住民同士で助け合い、支え合う体制づくりを推進します。	P72	具体的 取組の例 6つめ	○地区防災計画や避難行動要支援者支援計画に基づき、要支援者一人ひとりの個別避難計画の整備を推進し、単位自治組織、自主防災組織をはじめ、地域の住民同士で助け合い、支え合う体制づくりを推進します。

5 市の地域コミュニティ施策		掲載 ページ	6 市の地域コミュニティ施策	
具体的 取組の例 7つめ	○講習会等による地域防災リーダーの育成や住民主体による「地区防災計画」「マイタイムライン」の策定や防災訓練(研修)などへの支援を行い、災害時の地域コミュニティにおける共助の体制づくりを推進します。	P72	具体的 取組の例 7つめ	○地域における防災力を強化するため、講習会等による地域防災リーダーの育成、自主防災組織が行う地区防災計画の策定及び防災訓練(研修)等への支援を行い、災害時の地域コミュニティによる共助の体制づくりを推進します。
具体的 取組の例 8つめ	○住民の防犯や交通安全に対する意識の高揚を図るため、鶴岡警察署をはじめとする関係機関・団体と連携し、防犯パトロールや交通安全早朝立哨などの取組を推進します。	P72	具体的 取組の例 8つめ	○安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、鶴岡警察署をはじめとする関係機関・団体と連携し、安全で明るいまちづくり大会の開催や防犯パトロール、交通安全早朝立哨等の取組みにより、住民の防犯や交通安全に対する意識の高揚を図ります。
具体的 取組の例 9つめ	○空き家等対策計画に基づき、空き家、空き地の所有者に適正管理を促し、不良空き家発生の抑制と危険空き家への対応を推進します。また、空き家実態調査を実施し、所有者から同意が得られた調査情報は単位自治組織に提供するなどの連携を図り、良好な住環境整備や、地域の特性を勘案し活性化につながる空き家などの活用を推進します。	P72 P73	具体的 取組の例 9つめ	○空き家等対策計画に基づき、空き家、空き地の所有者に適正管理を促し、不良空き家の発生抑制や危険空き家への対応を推進するとともに、空き家実態調査を実施し所有者から同意が得られた調査情報は単位自治組織に提供する等の連携や、空き家の利活用や老朽・危険空き家への対応策、住環境整備についての勉強会を開催し、良好な住環境整備を推進します。
具体的 取組の例 10つめ	○日常の移動手段として重要な役割を担う路線バスなどの公共交通について、地域の実情に応じた最適な交通手段の導入を共に検討し、導入して完了ではなく、その後も「乗って育てる公共交通」を目指し、関係者が一体となって利用促進、利便性の向上につながる取組を進めます。	P73	具体的 取組の例 10つめ	○日常の移動手段として重要な役割を担う路線バス等の公共交通について、地域の実情に応じた最適な交通手段の導入を共に検討し、導入して完了ではなく、その後も「乗って育てる公共交通」を目指し、関係者が一体となって利用促進、利便性の向上につながる取組を進めます。
⑥生涯学習活動を通じた地域づくりの推進			⑥生涯学習活動を通じた地域づくりの推進	
⑥リード 文	住民自治組織による生涯学習事業が多様な学習・交流活動の機会となるように、また、地域づくりや地域課題に対応した取組につながるよう支援します。	P73	リード 文	住民自治組織による多様な学習や交流活動を支援し、住民ニーズに対応した誰もが参加しやすい生涯学習事業を通じて地域づくりを推進します。
⑦住民自治組織と行政の連携強化			⑦住民自治組織と行政の連携強化	
リード 文	住民自治組織の総合力を高める取組を推進します。 また、住民自治組織の負担軽減に向けた見直しを行うなど、住民自治組織と連携し、役割分担しながら行政施策を推進します。	P73	リード 文	地域コミュニティ施策の推進にあたっては、住民自治組織等の意見を聴きながら、実情に即した内容になるよう、住民自治組織と行政が連携し、役割分担しながら施策を推進します。
具体的 取組の例 1つめ	○アドバイザー職員やコミュニティ支援員、集落支援員を配置して、地域課題の解決や地域ビジョンの策定など地域住民の主体的な地域づくりを支援します。	P73	具体的 取組の例 1つめ	○アドバイザー職員やコミュニティ支援員、集落支援員を配置して、地域課題の解決や地域ビジョンの策定等地域住民の主体的な地域づくりを支援します。

5 市の地域コミュニティ施策		掲載 ページ	6 市の地域コミュニティ施策	
具体的 取組の例 2つめ	○住民自治組織が本計画の取組を推進するため、単年度ごとに取組事項を確認し、点検、評価等できる仕組みを整え、進行管理を行います。	P73	具体的 取組の例 2つめ	○住民自治組織が本計画の取組みを推進するため、単年度ごとに取組み事項を確認し、点検、評価等できる仕組みを整え、進行管理を行います。
具体的 取組の例 3つめ	○コミュニティセンターの使用料について、「 <u>地域住民が健康で文化的な住みよい近隣社会をつくることを目的とするコミュニティ活動</u> 」に該当しない目的外使用について、受益者負担の適正化や <u>公正</u> の確保の観点から、 <u>免除内容や減免率の引き下げ等</u> の検討を行います。	P73	具体的 取組の例 3つめ	○コミュニティセンターの使用料について、受益者負担の適正化や <u>公平性</u> の確保の観点から、 <u>料金体系を含め見直し</u> の検討を行います。
具体的 取組の例 4つめ	○住民自治組織にかかる負担軽減を図るため、行政からの依頼事項の洗い出しを行うとともに、各種団体負担金の軽減や会議開催の見直し、 <u>手続きの簡素化など、新しい生活様式の導入の観点を含めた</u> 検討を行います。	P73	具体的 取組の例 4つめ	○住民自治組織の負担軽減を図るため、市から住民自治組織への依頼事項の洗い出しを行うとともに、各種団体負担金や <u>配布物の軽減</u> 、会議開催の見直し等について検討します。
具体的 取組の例 5つめ	○市の地域コミュニティ施策の推進にあたっては、住民自治組織等の声を反映した実情に即した内容になるよう、また地域にとって過度な負担とならないように <u>取組を進めます</u> 。	P73	具体的 取組の例 5つめ	○市の地域コミュニティ施策の推進にあたっては、住民自治組織等の声を反映した実情に即した内容になるよう、また地域にとって過度な負担とならないように <u>取組みを進めます</u> 。